
第2次城里町総合計画 後期基本計画 策定のためのアンケート調査 結果報告

目次

1 . 調査の概要.....	1
1-I 調査の目的.....	1
1-II 調査の概要.....	1
1-III 回収結果.....	1
2 . 単純集計結果.....	3
2-I 回答者属性（令和2年8月1日現在）.....	3
2-II 城里町の暮らしやすさの評価.....	11
2-III 町政に対する評価.....	19
2-IV これからのまちづくりにおいて重視する取組.....	25
2-V 町の人口減少対策に関する質問（別紙）.....	38
2-VI 自由記述欄.....	48
3 . クロス集計結果.....	53
3-I 住みやすさの評価や居住継続意向に見える傾向.....	53
3-II 属性別の住みやすさの評価・居住継続意向の傾向.....	55

1. 調査の概要

1-1 調査の目的

令和3年度から5か年の町政運営の指針となる「第2次城里町総合計画 後期基本計画」の策定にあたって、町政に対する評価や要望などに関するご意見を町民の皆さまから収集し、新しい計画づくりに役立てることを目的とする。

1-2 調査の概要

調査期間	・ 令和2年9月23日（水）～10月7日（水） （最終的には、10月30日までにポストに投函された回答を集計）
調査対象	・ 町内に居住する満18歳以上の町民2,000人 ※住民基本台帳より無作為抽出
調査方法	・ アンケート調査（郵送配布・郵送回収）
調査項目	I 回答者属性【問1～8】 II 城里町の暮らしやすさの評価【問9～14】 III 調整に対する評価【問15】 IV これからのまちづくりにおいて重視する取組【問16～28】 その他、書き切れない内容や、町政に関するご意見、ご要望等を自由に記載していただく自由記述欄を用意 V 町の人口減少対策に関する内容【問A～J】※ ※40歳未満の方には総合戦略に関する質問について尋ねる別紙を配布し回答を依頼した

1-3 回収結果

配布・回収	: 配布数 2,000通 : 回収数 1,280通 : 回収率 64.0%
-------	---

次頁以降の集計結果に関する注意点

1. イレギュラーな回答への対応について

- 単数回答の設問で 2 以上の選択肢に○がついている場合や、複数回答の設問で指定以上の選択肢に○がついている場合には、矛盾する選択肢（「特にない」等）を削除した上で、指定の数に収まるようランダムサンプリング手法により選択肢を抽出しています（抽出されなかった選択肢は集計の対象外としています）。
- 5 段階評価の設問で 2 以上の選択肢に○がついている場合や、選択肢の中間に○がついている場合には以下の通り対応しています。
 - 一連続する選択肢の中間またはいずれにも○がある場合は「やや～～」「あまり～～」とする
 - 一連続しない 2 以上の選択肢に○がある場合は「どちらともいえない」とする
- その他、上に当てはまらないものについては個別に回答を確認し、根拠ある判断ができない場合や回答が矛盾する場合は「無回答・誤回答」としています。

2. 回答者の偏りについて

- 今回の回答者を年齢（問2）別・居住地（問3）別に集計すると下左の通り、実際の人口（2015 年国勢調査より）は下右の通りとなります。

	石塚 小学校	常北 小学校	桂 小学校	沢山 小学校	七会 小学校	無・誤 回答
～19歳	7	3	1	1	2	0
20～29歳	54	19	21	5	10	1
30～39歳	75	30	20	18	17	3
40～49歳	106	30	29	17	20	4
50～59歳	101	38	43	33	15	5
60～69歳	148	100	59	43	33	2
70歳以上	64	34	37	13	10	5
無・誤回答	1	0	0	0	1	2
合計						1280

	石塚 小学校	常北 小学校	桂 小学校	沢山 小学校	七会 小学校
～19歳	83.2	30	35.6	18.4	16
20～29歳	313	146	129	105	90
30～39歳	401	183	140	86	102
40～49歳	582	216	202	126	83
50～59歳	583	328	240	176	153
60～69歳	670	422	338	218	190
70歳以上	435	249	197	139	93

※20 歳未満は 5 歳階級別の人口に 2/5 を乗じて算出

- 年齢については【60 代がやや多く、29 歳以下がやや少ない】、居住地については【石塚地域がやや多く、沢山地域・七会地域がやや少ない】という傾向はありますが、極端な偏りはないと考え、そのまま集計を行っています。

想定回収数に対する実際の回収数の割合

	石塚 小学校	常北 小学校	桂 小学校	沢山 小学校	七会 小学校	合計
～19歳	0.9043	0.7342	0.785	0.2856	0.6649	0.7538
20～29歳	1.0986	0.9629	0.8391	1.2294	0.9789	1.0498
30～39歳	1.0698	0.8158	0.8432	0.7925	1.4153	1.0008
40～49歳	1.0176	0.6805	1.0524	1.1013	0.5758	0.9326
50～59歳	1.2975	1.3918	1.0253	1.1586	1.0202	1.2303
60～69歳	0.8642	0.802	1.1032	0.5493	0.6316	0.8602
合計	1.0647	0.9478	0.9624	0.8793	0.8726	1

※20 歳未満は 5 歳階級別の人口に 2/5 を乗じて算出

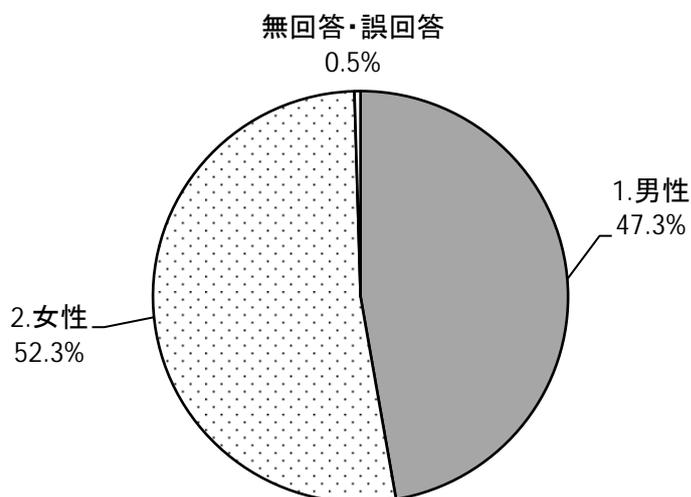
2. 単純集計結果

2-1 回答者属性（令和2年8月1日現在）

問1 あなたの性別は次のどちらですか？（あてはまるもの1つに○）

- 「男性」47.3%、「女性」52.3%で女性が僅かに多くなっている。

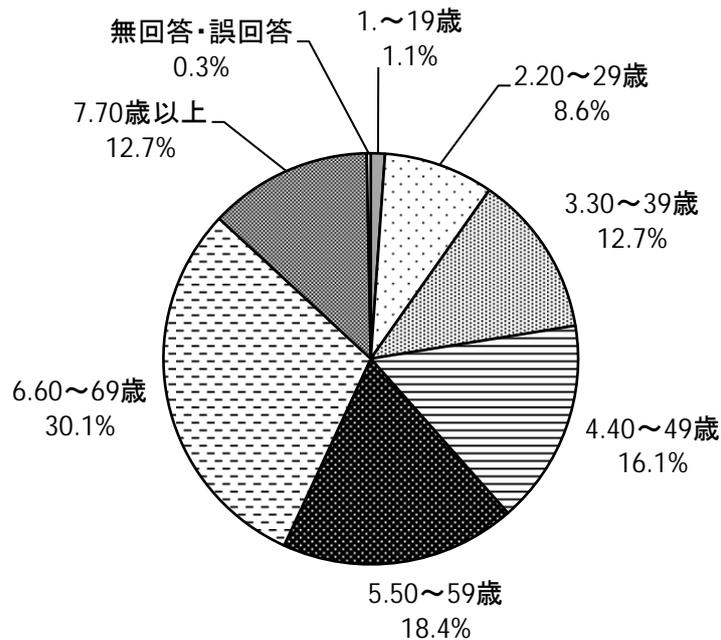
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	男性	605	47.3
2	女性	669	52.3
-	無回答・誤回答	6	0.5
	回答者数	1280	100.0



問2 あなたの年齢は次のどちらですか？（あてはまるもの1つに○）

- 「60～69歳」が30.1%で最も多い。
- 次いで「50～59歳」、「40～49歳」が多く、それぞれ18.4%、16.1%となっている。
- 40歳未満（「～19歳」「20～29歳」「30～39歳」の合計）は22.4%となっている。

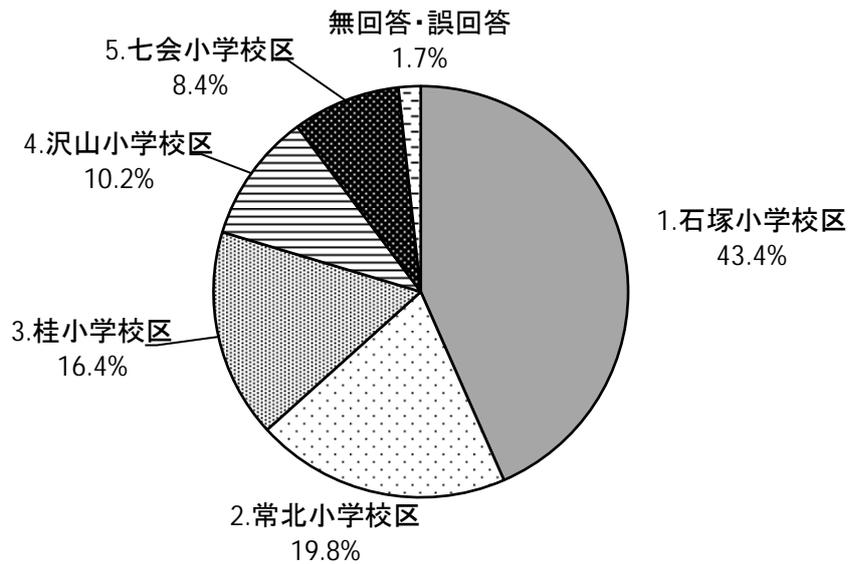
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	～19歳	14	1.1
2	20～29歳	110	8.6
3	30～39歳	163	12.7
4	40～49歳	206	16.1
5	50～59歳	235	18.4
6	60～69歳	385	30.1
7	70歳以上	163	12.7
-	無回答・誤回答	4	0.3
回答者数		1280	100.0



問3 あなたは現在どちらにお住まいですか？（あてはまるもの1つに○）

- 「石塚小学校区」が43.4%で最も多い。
- 次いで「常北小学校区」、「桂小学校区」、「沢山小学校区」、「七会小学校区」の順に多く、それぞれ19.8%、16.4%、10.2%、8.4%となっている。

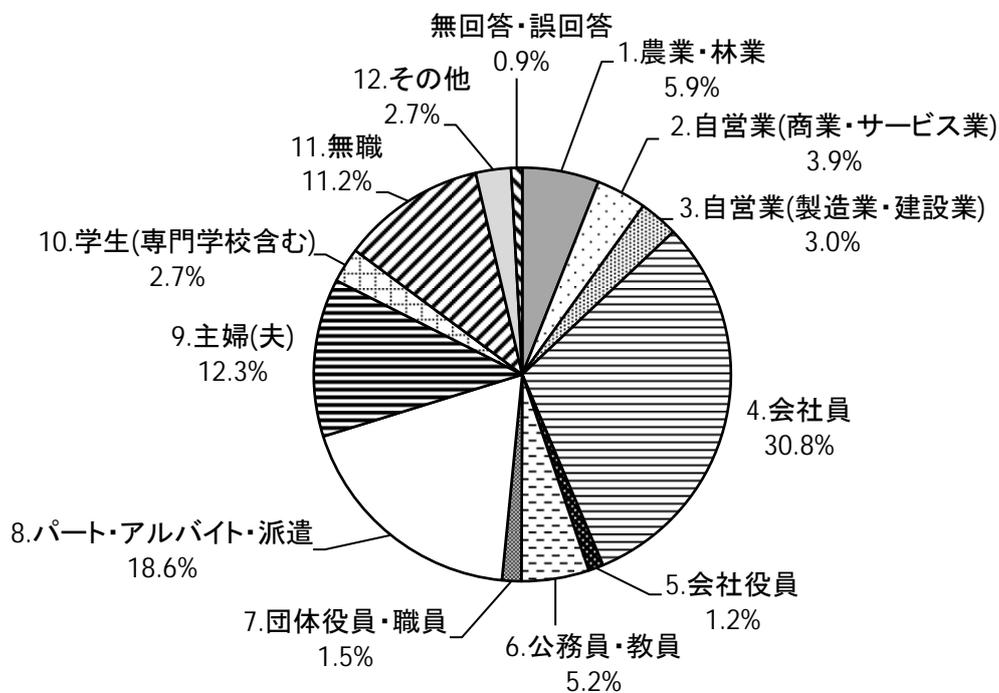
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	石塚小学校区	556	43.4
2	常北小学校区	254	19.8
3	桂小学校区	210	16.4
4	沢山小学校区	130	10.2
5	七会小学校区	108	8.4
-	無回答・誤回答	22	1.7
	回答者数	1280	100.0



問4 あなたのご職業は次のどちらですか？（あてはまるもの1つに○）

- 「会社員」が30.8%で最も多い。
- 次いで「パート・アルバイト・派遣」、「主婦(夫)」「無職」が多く、それぞれ18.6%、12.3%、11.2%となっている。
- 「その他」には、「看護師」「家事手伝い」「療休中」等の記載が見られる。
「その他」については、記載の多少に拠らず様々な内容を抽出して紹介する。また、その表現については簡略化等の編集を行っているものがある。（以下同様）

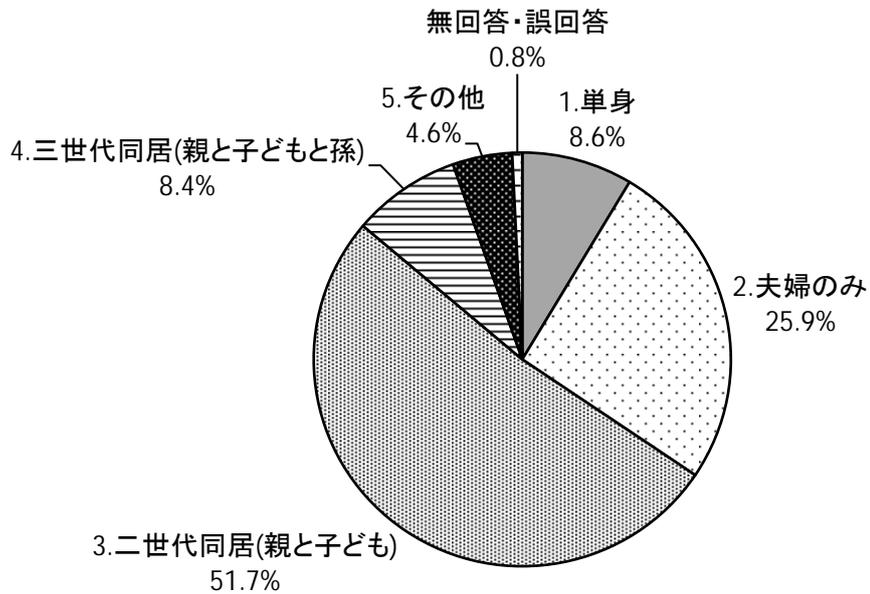
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	農業・林業	76	5.9
2	自営業(商業・サービス業)	50	3.9
3	自営業(製造業・建設業)	39	3.0
4	会社員	394	30.8
5	会社役員	15	1.2
6	公務員・教員	67	5.2
7	団体役員・職員	19	1.5
8	パート・アルバイト・派遣	238	18.6
9	主婦(夫)	158	12.3
10	学生(専門学校含む)	35	2.7
11	無職	143	11.2
12	その他	35	2.7
-	無回答・誤回答	11	0.9
	回答者数	1280	100.0



問5 あなたの家族構成は次のどちらですか？（あてはまるもの1つに○）

- 「二世世代同居（親と子ども）」が51.7%で最も多い。
- 次いで「夫婦のみ」が多く、25.9%となっている。
- 「単身」「三世世代同居（親と子どもと孫）」はそれぞれ10%未満となっている。
- 「その他」には、「兄弟姉妹と同居」や「四世代同居」等の記載が見られる。

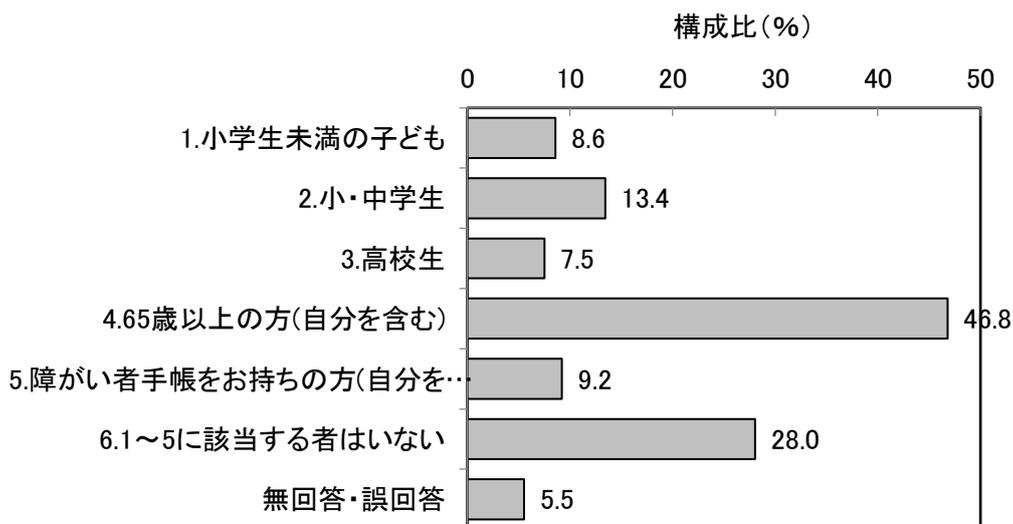
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	単身	110	8.6
2	夫婦のみ	331	25.9
3	二世世代同居(親と子ども)	662	51.7
4	三世世代同居(親と子どもと孫)	108	8.4
5	その他	59	4.6
-	無回答・誤回答	10	0.8
回答者数		1280	100.0



問6 同居するご家族の中に次の方はいらっしゃいますか？（あてはまるもの全てに○）

- 「65歳以上の方」と同居する回答者が46.8%で全体の1/2弱を占めている。
- 次いで「1～5に該当する者はいない」が多く、28.0%となっている。
- 「小・中学生」が13.4%、「小学生未満の子ども」が8.6%、「高校生」が7.5%で、何れかの年代の子どもと同居する回答者は22.7%となっている。
- 「障がい者手帳をお持ちの方」は9.2%で、このうち6割弱の方が「65歳以上の方」にもあわせて○をつけている。

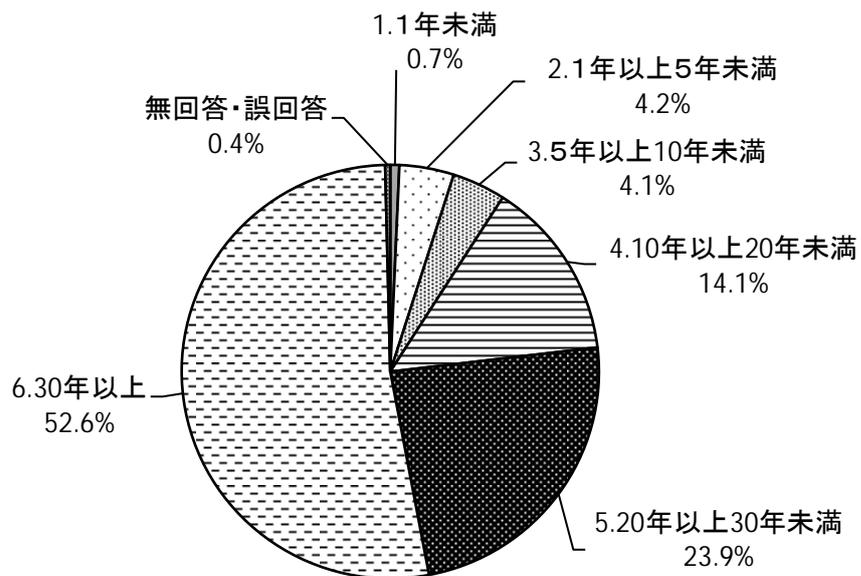
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	小学生未満の子ども	110	8.6
2	小・中学生	172	13.4
3	高校生	96	7.5
4	65歳以上の方(自分を含む)	599	46.8
5	障がい者手帳をお持ちの方(自分を含む)	118	9.2
6	1～5に該当する者はいない	359	28.0
-	無回答・誤回答	71	5.5
	回答者数	1280	100.0



問7 城里町にお住まいになって何年になりますか？一度町外に転出して戻られた場合は、合計の年数をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- 「30年以上」が52.6%と最も多く、全体の1/2強を占めている。
- 次いで「20年以上30年未満」「10年以上20年未満」が多く、それぞれ23.9%、14.1%となっている。
- 10年未満（「1年未満」「1年以上5年未満」「5年以上10年未満」の合計）は9.1%となっている。

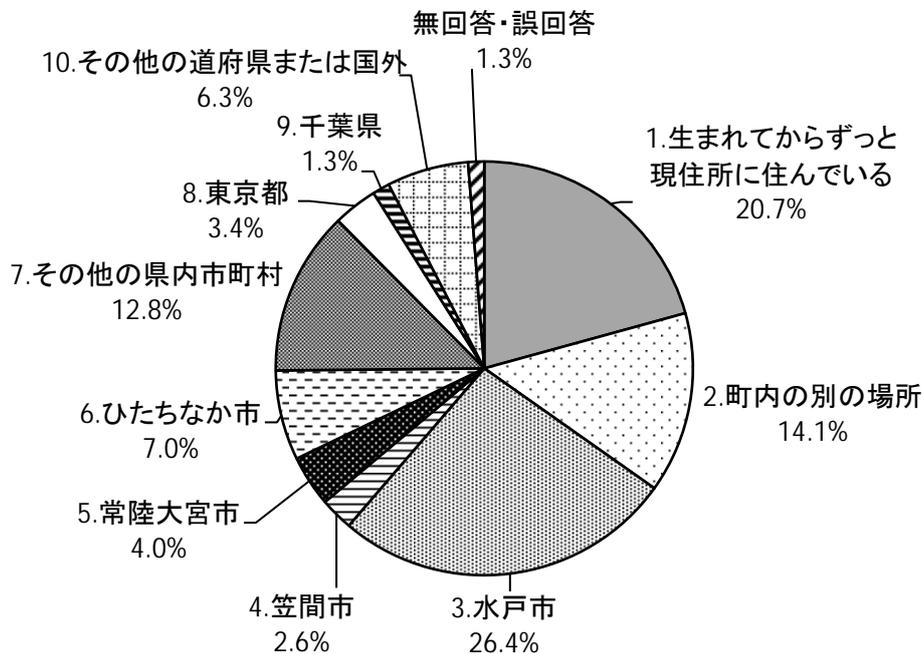
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	1年未満	9	0.7
2	1年以上5年未満	54	4.2
3	5年以上10年未満	53	4.1
4	10年以上20年未満	180	14.1
5	20年以上30年未満	306	23.9
6	30年以上	673	52.6
-	無回答・誤回答	5	0.4
回答者数		1280	100.0



問8 現住所の直前に住んでいたのはどこですか？（あてはまるもの1つに○）

- 「水戸市」が26.4%で最も多い。「ひたちなか市」や「その他の県内市町村」も多く、県内から転居してきた人は合計52.8%、全体の1/2強を占めている。
- 「生まれてからずっと現住所に住んでいる」は20.7%、「町内の別の場所」は14.1%で、あわせて全体の1/3強を占めている。
- 県外は11.1%で、このうち「東京都」が3.4%、「その他の道府県または国外」が6.3%となっている。

No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	生まれてからずっと現住所に住んでいる	265	20.7
2	町内の別の場所	181	14.1
3	水戸市	338	26.4
4	笠間市	33	2.6
5	常陸大宮市	51	4.0
6	ひたちなか市	90	7.0
7	その他の県内市町村	164	12.8
8	東京都	44	3.4
9	千葉県	17	1.3
10	10. その他の道府県または国外	81	6.3
-	無回答・誤回答	16	1.3
回答者数		1280	100.0

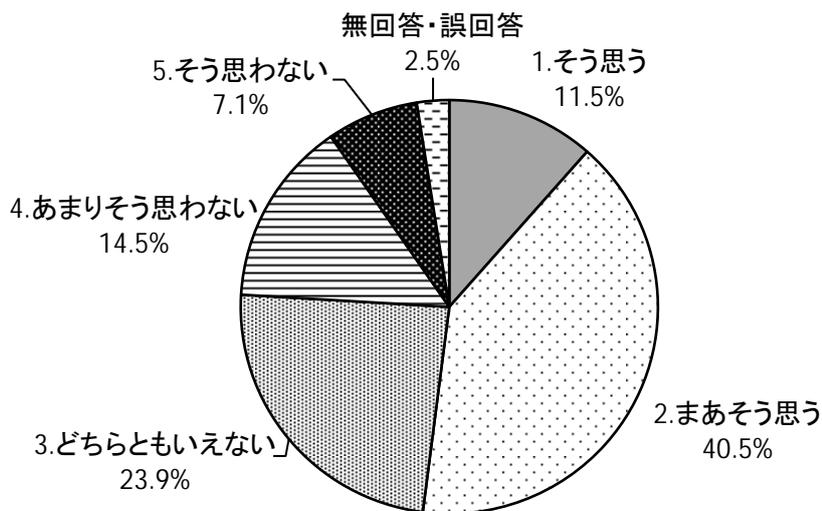


2 - II 城里町の暮らしやすさの評価

問9 現在の城里町が住みやすい・暮らしやすいまちだと思いますか？（あてはまるもの1つに○）

- 「まあそう思う」が40.5%で最も多い。「そう思う」とあわせて52.0%で全体の1/2強を占めている。
- 次いで「どちらともいえない」が多く、23.9%となっている。
- 「あまりそう思わない」「そう思わない」はそれぞれ14.5%、7.1%で、あわせて21.6%となっている。

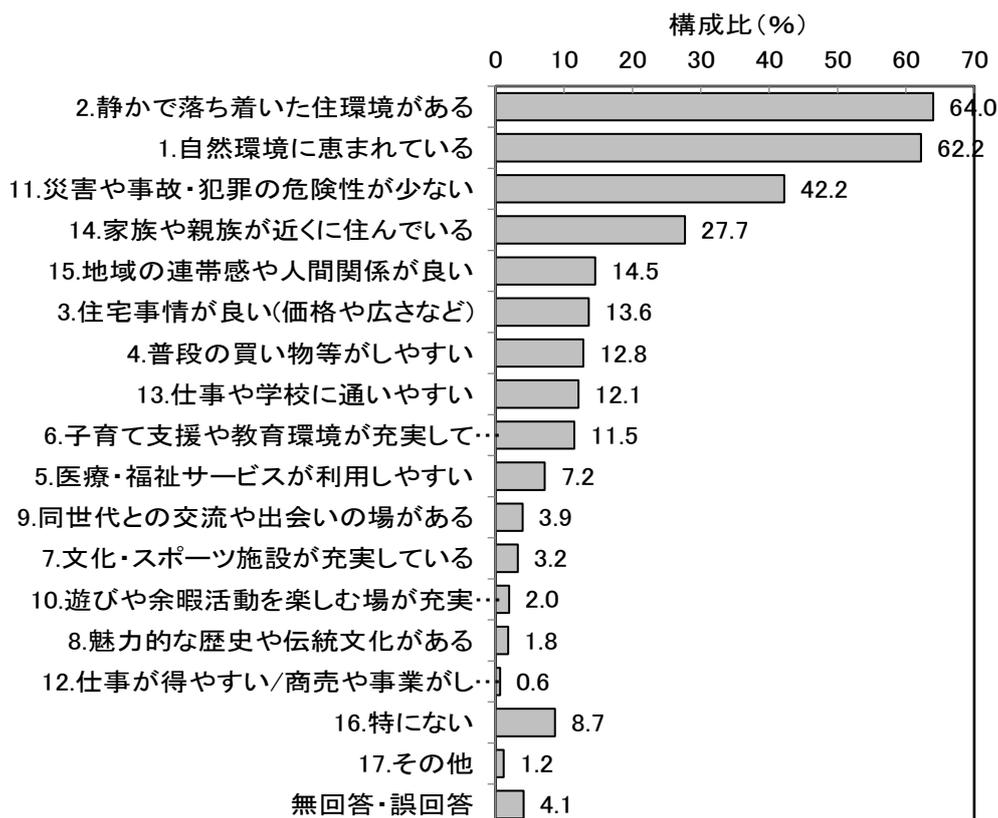
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	そう思う	147	11.5
2	まあそう思う	519	40.5
3	どちらともいえない	306	23.9
4	あまりそう思わない	185	14.5
5	そう思わない	91	7.1
-	無回答・誤回答	32	2.5
	回答者数	1280	100.0



問 10 暮らしやすいと感じるのはどのような点ですか？（あてはまるものを全て選んで○）

- 「静かで落ち着いた住環境がある」が64.0%、「自然環境に恵まれている」が62.2%で、特に多くなっている。
- 次いで「災害や事故・犯罪の危険性が少ない」、「家族や親族が近くに住んでいる」が多く、それぞれ42.2%、27.7%となっている。
- その他の選択肢は10%前後のものが多く、「特にない」も8.7%となっている。
- 「その他」では、「生まれ育った土地だから」「空気がきれい」「子育て支援が充実していて育てやすい（もっとアピールしても良いと思う）」「高齢者が元気でいろいろと助けてくれる」等の意見がある一方、「城里町ではなくてもいい（城里町でなければの理由がない）」「特にない（ある意味、何も無いところが好き!）」等の記載も見られる。

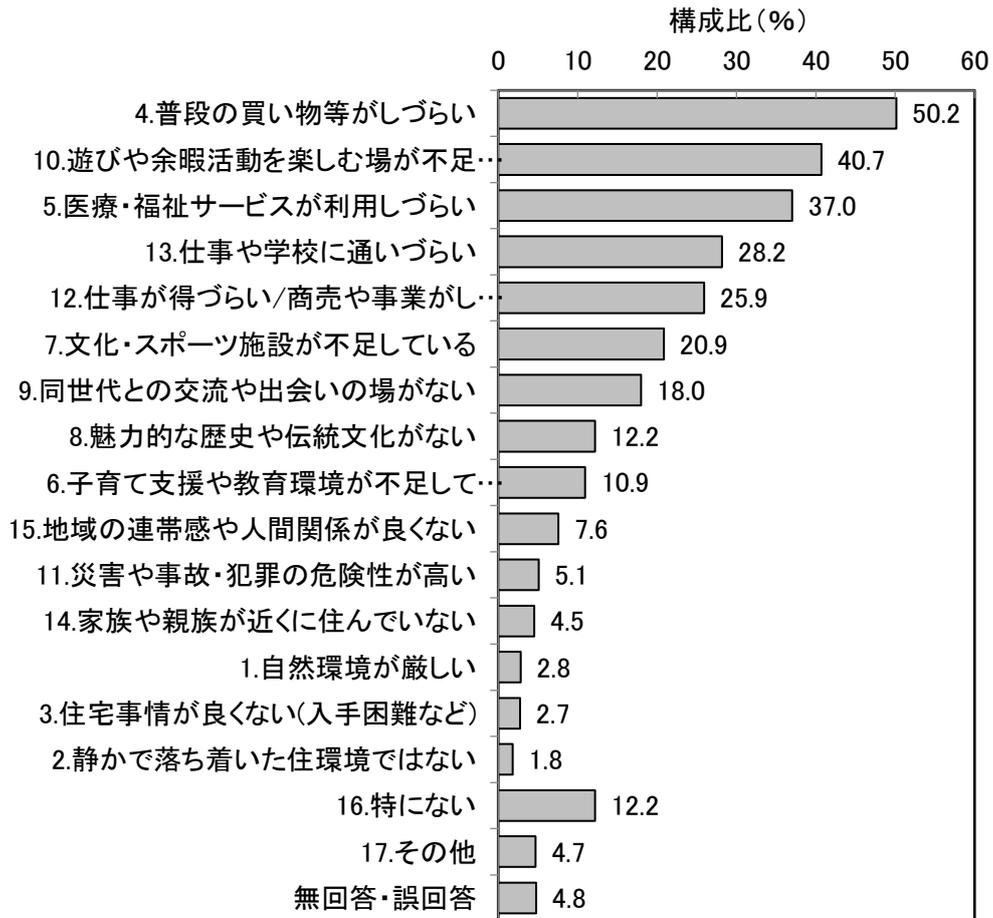
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	自然環境に恵まれている	796	62.2
2	静かで落ち着いた住環境がある	819	64.0
3	住宅事情が良い(価格や広さなど)	174	13.6
4	普段の買い物等がしやすい	164	12.8
5	医療・福祉サービスが利用しやすい	92	7.2
6	子育て支援や教育環境が充実している	147	11.5
7	文化・スポーツ施設が充実している	41	3.2
8	魅力的な歴史や伝統文化がある	23	1.8
9	同世代との交流や出会いの場がある	50	3.9
10	遊びや余暇活動を楽しむ場が充実している	25	2.0
11	災害や事故・犯罪の危険性が少ない	540	42.2
12	仕事ที่ได้やすい/商売や事業がしやすい	8	0.6
13	仕事や学校に通いやすい	155	12.1
14	家族や親族が近くに住んでいる	354	27.7
15	地域の連帯感や人間関係が良い	186	14.5
16	特にない	111	8.7
17	その他	15	1.2
-	無回答・誤回答	52	4.1
	回答者数	1280	100.0



問 11 反対に、暮らしにくいと感じるのはどのような点ですか？(あてはまるものを全て選んで○)

- 「普段の買い物等がしづらい」が50.2%で最も多い。
- 次いで「遊びや余暇活動を楽しむ場が不足している」「医療・福祉サービスが利用しづらい」が多く、それぞれ40.7%、37.0%となっている。
- 「仕事や学校に通いづらい」「仕事が見つからない/商売や事業がしづらい」「文化・スポーツ施設が不足している」「同世代との交流や出会いの場がない」も多い。
- その他の選択肢は、「特にない」12.2%以下となっている。
- 「その他」では、買い物や交通に関して「交通が不便」「交通手段が限られる」「車を運転できないとどこへ行くにも不便がある」「商店が減り、車がないと買い物がしにくい」「飲食店が少ない」「医療機関が少ない」等の多くの意見が寄せられている。
- この他にも以下のような記載が見られる。
 - －自然環境について：「水害の危険がある」「害獣被害」「自然環境が活かされていない」
 - －住環境について：「家庭でのごみの焼却が多い」「国道を走るバイクの音がうるさい(暴走族)」「人が増えてきて交通量も増えた」「養鶏場の臭いがストレス」
 - －道路等について：「道路が悪い地区がある」「歩道がない」「舗装がなく道路幅が狭い」「通学路が整備されていない」「街灯が少ない(学校から帰ってきた子どもが外で活動できない)」
 - －地域コミュニティについて：「地域の奉仕活動が多い」「転入者に対して好意的でない」「昔から住んでいる人の考えが古い」
 - －公共サービスについて：「公共サービスが良くない」「水道料金をもう少し安くして欲しい」「水戸と比べると税金等が高い」
 - －その他：「とにかく何もない」「過疎化が進み建造物のみ残される傾向にある」「あちこちにソーラーパネルが点在していて景観が悪い」

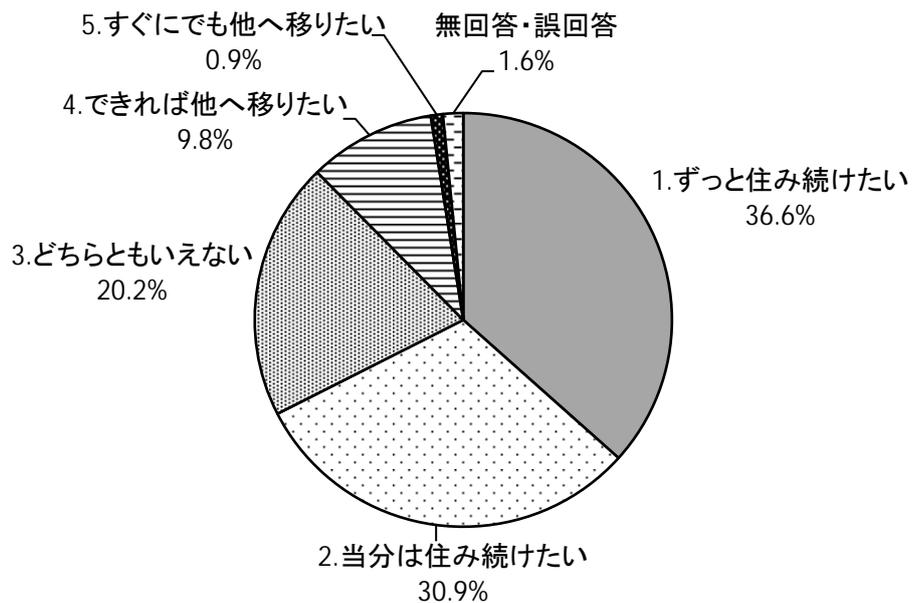
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	自然環境が厳しい	36	2.8
2	静かで落ち着いた住環境ではない	23	1.8
3	住宅事情が良くない(入手困難など)	35	2.7
4	普段の買い物等がしづらい	642	50.2
5	医療・福祉サービスが利用しづらい	474	37.0
6	子育て支援や教育環境が不足している	140	10.9
7	文化・スポーツ施設が不足している	267	20.9
8	魅力的な歴史や伝統文化がない	156	12.2
9	同世代との交流や出会いの場がない	230	18.0
10	遊びや余暇活動を楽しむ場が不足している	521	40.7
11	災害や事故・犯罪の危険性が高い	65	5.1
12	仕事が見つからない/商売や事業がしづらい	332	25.9
13	仕事や学校に通いづらい	361	28.2
14	家族や親族が近くに住んでいない	58	4.5
15	地域の連帯感や人間関係が良くない	97	7.6
16	特にない	156	12.2
17	その他	60	4.7
-	無回答・誤回答	61	4.8
	回答者数	1280	100.0



問 12 今後も城里町に住み続けたいと思いますか？（あてはまるもの1つに○）

- 「ずっと住み続けたい」が36.6%で最も多い。
- 次いで多いのは「当分は住み続けたい」で、「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」をあわせて67.5%、全体の7割弱を占めている。
- 「どちらともいえない」が20.2%となっている。
- 「できれば他へ移りたい」「すぐにでも他へ移りたい」という人はあわせて10.8%となっている。

No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	ずっと住み続けたい	469	36.6
2	当分は住み続けたい	395	30.9
3	どちらともいえない	258	20.2
4	できれば他へ移りたい	126	9.8
5	すぐにでも他へ移りたい	12	0.9
-	無回答・誤回答	20	1.6
	回答者数	1280	100.0

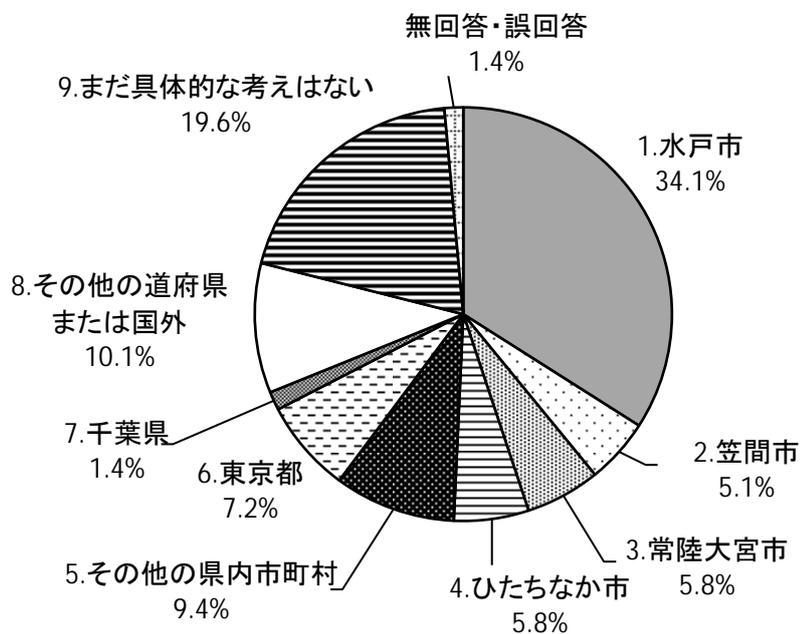


《問 12 で 4 または 5 に ○ をつけた方にお聞きします（その他の方は問 14 へお進みください）》

問 13 移住先の候補として希望されるのは次のどちらですか？（あてはまるものを 1 つに ○）

- 「水戸市」が 34.1% で最も多い。
- 次いで「まだ具体的な考えはない」が多く、19.6% となっている。
- 水戸市を除く県内市町村は 26.1% となっており、「水戸市」とあわせると全体の 6 割強を占めている。
- 「東京都」「千葉県」「その他の道府県または国外」はあわせて 18.8% となっている。

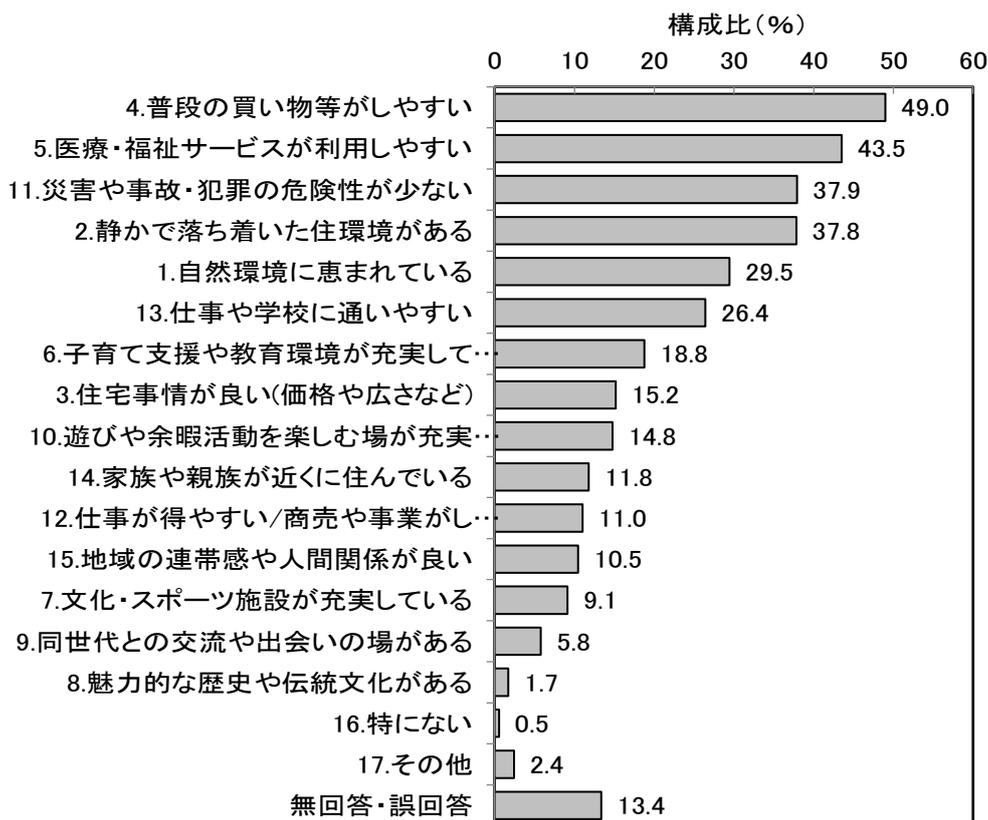
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	水戸市	47	34.1
2	笠間市	7	5.1
3	常陸大宮市	8	5.8
4	ひたちなか市	8	5.8
5	その他の県内市町村	13	9.4
6	東京都	10	7.2
7	千葉県	2	1.4
8	その他の道府県または国外	14	10.1
9	まだ具体的な考えはない	27	19.6
-	無回答・誤回答	2	1.4
	回答者数	138	100.0



問 14 住みたい町を決める上で特に重視する条件は何ですか？（問 10 の 1～17 の選択肢の中から該当するものを4つまで選んで以下にその数字を記入してください）

- 「普段の買い物等がしやすい」が49.0%で最も多い。
- 次いで「医療・福祉サービスが利用しやすい」「災害や事故・犯罪の危険性が少ない」「静かで落ち着いた住環境がある」が多く、それぞれ43.5%、37.9%、37.8%となっている。
- 「自然環境に恵まれている」「仕事や学校に通いやすい」も多い。
- 「その他」では、「交通の便」やこれに関連して「一人暮らしの高齢者が安心して生活できる」「車が運転できなくなっても自立して生活ができる」等をあげる意見が多いほか、「夜遅くまで営業している本屋、ファミレスなどがある町」「やりたいものがある場合は他に行く」「自宅がある」「雇用がある」「税金など」「民度」等の記載も見られる。

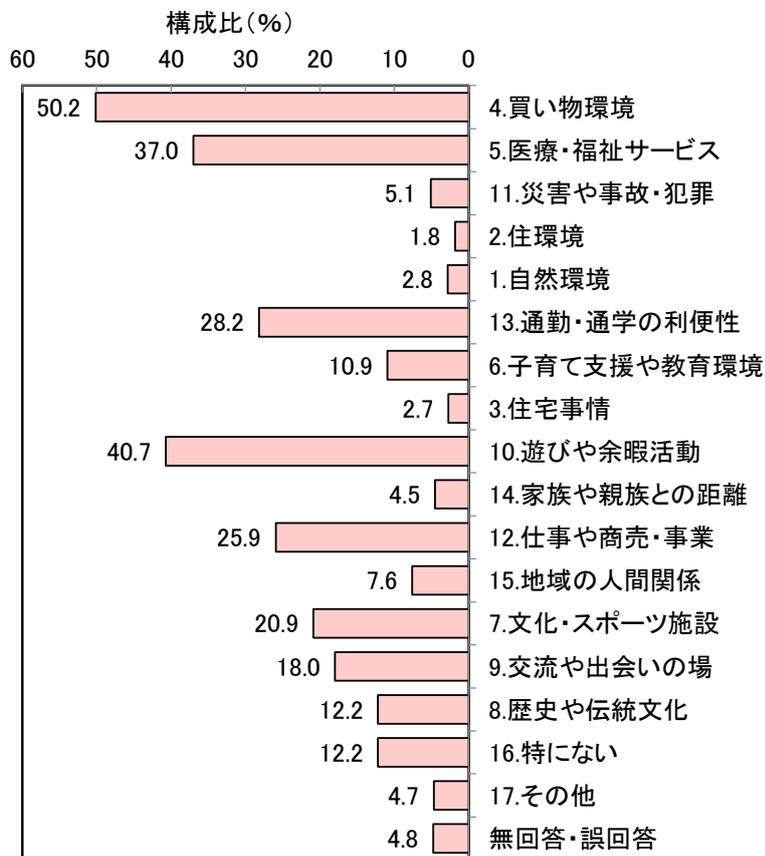
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	自然環境に恵まれている	377	29.5
2	静かで落ち着いた住環境がある	484	37.8
3	住宅事情が良い(価格や広さなど)	194	15.2
4	普段の買い物等がしやすい	627	49.0
5	医療・福祉サービスが利用しやすい	557	43.5
6	子育て支援や教育環境が充実している	240	18.8
7	文化・スポーツ施設が充実している	117	9.1
8	魅力的な歴史や伝統文化がある	22	1.7
9	同世代との交流や出会いの場がある	74	5.8
10	遊びや余暇活動を楽しむ場が充実している	189	14.8
11	災害や事故・犯罪の危険性が少ない	485	37.9
12	仕事ที่ได้やすい/商売や事業がしやすい	141	11.0
13	仕事や学校に通いやすい	338	26.4
14	家族や親族が近くに住んでいる	151	11.8
15	地域の連帯感や人間関係が良い	134	10.5
16	特にない	7	0.5
17	その他	31	2.4
-	無回答・誤回答	171	13.4
	回答者数	1280	100.0



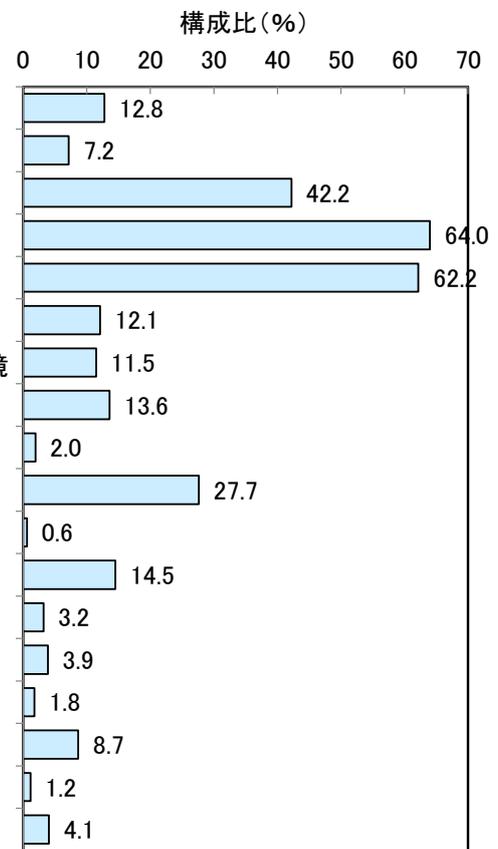
参考 問 14 の順位に従って並べ直した「暮らしやすいと感じる点 (問 10)」「暮らしにくいと感じる点 (問 11)」の結果

- 居住地選択をする上で重視する人が多い項目のうち、上位 2 項目にあたる「買い物環境」と「医療・福祉サービス」の評価が低い（暮らしにくいと感じる人が多い）。
- これに続く「災害や事故・犯罪」「住環境」「自然環境」の 3 項目は評価が高くなっている（暮らしやすいと感じる人が多い）。
- 上位 10 項目の中では、他に「通勤・通学の利便性」（第 6 位）や「遊びや余暇活動」（第 9 位）の評価が低く、「住宅事情」（第 8 位）や「家族や親族との距離」（第 10 位）の評価が高くなっている。
- 「子育て支援や教育環境」については評価が拮抗している様子が窺える。

暮らしにくいと感じる点 (問 11)



暮らしやすいと感じる点 (問 10)



2 - III 町政に対する評価

問 15 城里町が実施している施策に関する満足度と重要度を 5~1 の 5 段階でおたずねします。
以下の①~④の施策ごとに、「A 現在の満足度」と「B 将来の重要度」のあてはまる番号を 1 つずつ選んで「○」をつけてください。

【A 現在の満足度】

- 満足度が高いのは、「⑤下水道の整備」「④上水道の整備」「⑪ 消防・救急体制の強化」「⑮子育て支援の充実」「⑱保健の充実」「⑳循環型社会の形成」などとなっている。
- 反対に満足度が低いのは、「①計画的土地利用の推進」「③交通体系の整備」「⑩住宅地・住宅の整備」「⑲医療の充実」「㉒商業の振興」「㉓工業の振興」「㉔観光・レクリエーションの振興」「㉕新たな産業の誘致・育成」などとなっている。
- 「②道路の整備」「⑥河川の整備」「⑦公園・緑地の整備と緑化の推進」は、「満足している」「やや満足している」という回答も一定数見られる一方、「不満である」「やや不満である」がこれを上回っており、全体では満足度がやや低い結果となっている。
- 分野別には、防災・防犯分野や教育・文化分野、環境分野の評価が高く、産業分野の評価が低い傾向が見られる。
- 生活環境（都市基盤・住宅）分野は施策内容によって評価が大きく分かれており、健康・福祉分野は「⑲医療の充実」を除くと平均よりも評価が高い様子が窺える。

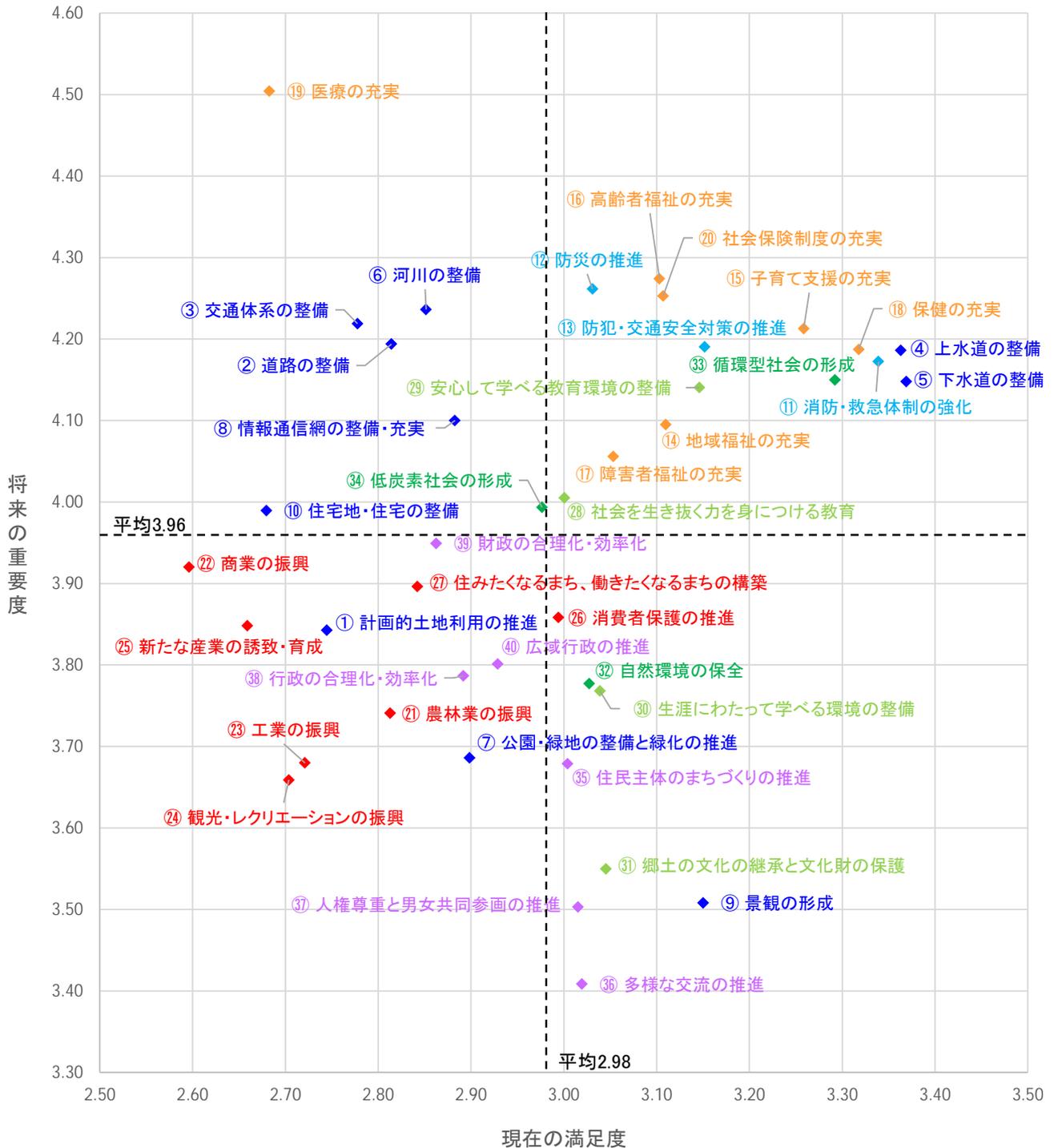
【B 将来の重要度】

- 重要度が特に高いのは、「⑲医療の充実」で、他に「②道路の整備」「③交通体系の整備」「⑥河川の整備」「⑫防災の推進」「⑮子育て支援の充実」「⑯高齢者福祉の充実」「㉑社会保険制度の充実」などが高くなっている。
- 全体的に「重要でない」「あまり重要でない」を選択する人は少なく、最も多い「㉒多様な交流の推進」でも両者をあわせて 10.1%となっている。
- 分野別には、防災・防犯分野や健康・福祉分野のニーズが高く、行財政運営等分野や産業分野のニーズがやや低い傾向が見られる。
- 生活環境（都市基盤・住宅）分野や教育・文化分野、環境分野は施策内容によって評価が分かれている様子が窺える。

【A 現在の満足度 × B 将来の重要度】

- 「満足度」が低く「重要度」が高い「⑲医療の充実」や「②道路の整備」、「③交通体系の整備」、「⑥河川の整備」、「⑧情報通信網の整備・充実」は、今後特に優先的に進めるべき施策と捉えることができる。
- 「満足度」「重要度」ともに高い防災・防犯分野や健康・福祉分野（「⑲医療の充実」を除く）、「④上水道の整備」「⑤下水道の整備」「㉑安心して学べる教育環境の整備」は、今後も継続的に取り組むべき施策と捉えることができる。
- 「満足度」「重要度」ともにあまり高くない産業分野や行財政運営等分野、「①計画的土地利用の推進」「⑦公園・緑地の整備と緑化の推進」などは、施策の内容や実施方法を含めて見直しを検討すべき施策と捉えることができる。
- 「満足度」が高く「重要度」が低い傾向が顕著に表れた施策は見られない。

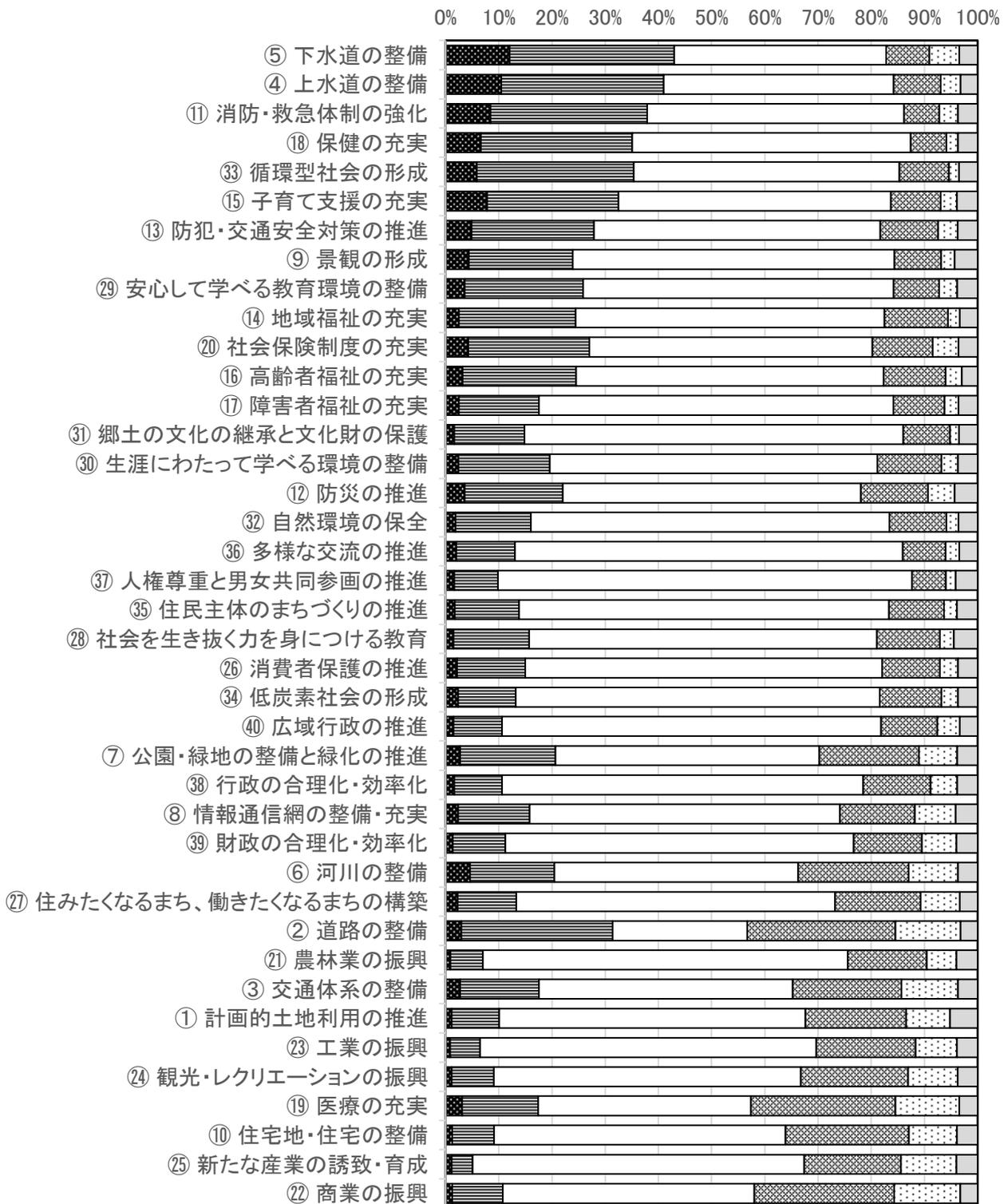
【A 現在の満足度 × B 将来の重要度】



※現在の満足度：「満足している」5点、「やや満足している」4点、「どちらともいえない」3点、「やや不満である」2点、「不満である」1点とし、平均点を算出したもの
 ※将来の優先度：「重要である」5点、「やや重要である」4点、「どちらともいえない」3点、「あまり重要でない」2点、「重要でない」1点とし、平均点を算出したもの

【A 現在の満足度】

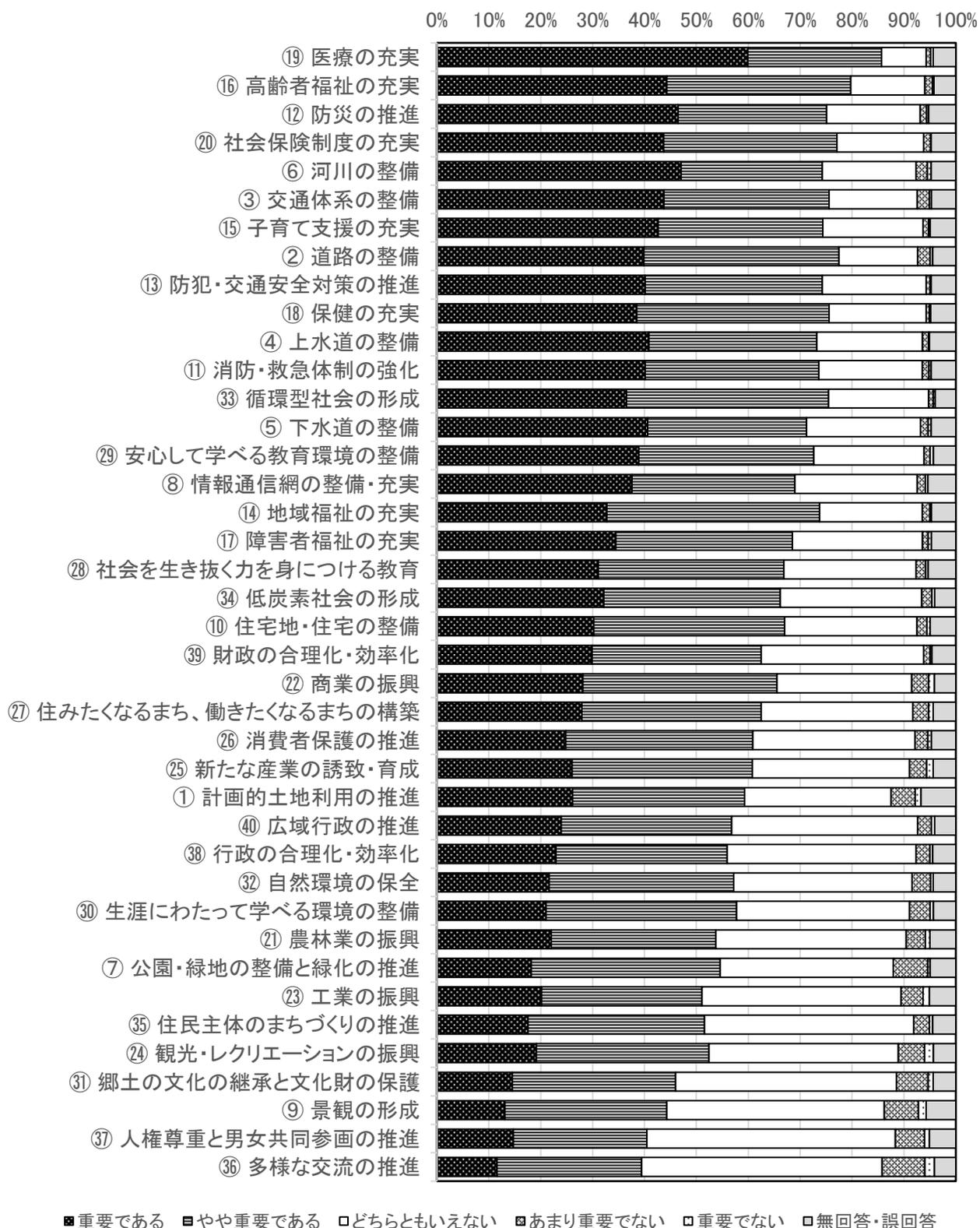
			5	4	3	2	1	-
			満足 している	やや満足 している	どちらとも いえない	やや不満 である	不満 である	無回答・ 誤回答
生活環境 (都市基盤・住宅)	① 計画的土地利用の推進	回答数 構成比(%)	15 1.2	114 8.9	737 57.6	242 18.9	106 8.3	66 5.2
	② 道路の整備	回答数 構成比(%)	38 3.0	364 28.4	324 25.3	356 27.8	157 12.3	41 3.2
	③ 交通体系の整備	回答数 構成比(%)	35 2.7	190 14.8	610 47.7	262 20.5	136 10.6	47 3.7
	④ 上水道の整備	回答数 構成比(%)	134 10.5	391 30.5	553 43.2	113 8.8	48 3.8	41 3.2
	⑤ 下水道の整備	回答数 構成比(%)	154 12.0	396 30.9	510 39.8	104 8.1	72 5.6	44 3.4
	⑥ 河川の整備	回答数 構成比(%)	59 4.6	203 15.9	586 45.8	266 20.8	119 9.3	47 3.7
	⑦ 公園・緑地の整備と緑化の推進	回答数 構成比(%)	35 2.7	229 17.9	635 49.6	240 18.8	92 7.2	49 3.8
	⑧ 情報通信網の整備・充実	回答数 構成比(%)	30 2.3	172 13.4	747 58.4	180 14.1	98 7.7	53 4.1
	⑨ 景観の形成	回答数 構成比(%)	56 4.4	250 19.5	774 60.5	112 8.8	33 2.6	55 4.3
	⑩ 住宅地・住宅の整備	回答数 構成比(%)	16 1.3	101 7.9	701 54.8	297 23.2	115 9.0	50 3.9
防災・防犯	⑪ 消防・救急体制の強化	回答数 構成比(%)	108 8.4	377 29.5	618 48.3	85 6.6	45 3.5	47 3.7
	⑫ 防災の推進	回答数 構成比(%)	46 3.6	236 18.4	717 56.0	162 12.7	64 5.0	55 4.3
	⑬ 防犯・交通安全対策の推進	回答数 構成比(%)	63 4.9	294 23.0	689 53.8	139 10.9	47 3.7	48 3.8
健康・福祉	⑭ 地域福祉の充実	回答数 構成比(%)	32 2.5	281 22.0	743 58.0	153 12.0	28 2.2	43 3.4
	⑮ 子育て支援の充実	回答数 構成比(%)	100 7.8	316 24.7	655 51.2	120 9.4	39 3.0	50 3.9
	⑯ 高齢者福祉の充実	回答数 構成比(%)	41 3.2	273 21.3	740 57.8	149 11.6	39 3.0	38 3.0
	⑰ 障害者福祉の充実	回答数 構成比(%)	32 2.5	193 15.1	852 66.6	123 9.6	34 2.7	46 3.6
	⑱ 保健の充実	回答数 構成比(%)	85 6.6	364 28.4	670 52.3	86 6.7	28 2.2	47 3.7
	⑲ 医療の充実	回答数 構成比(%)	40 3.1	183 14.3	512 40.0	347 27.1	154 12.0	44 3.4
	⑳ 社会保険制度の充実	回答数 構成比(%)	55 4.3	291 22.7	681 53.2	145 11.3	62 4.8	46 3.6
産業	㉑ 農林業の振興	回答数 構成比(%)	12 0.9	78 6.1	878 68.6	190 14.8	71 5.5	51 4.0
	㉒ 商業の振興	回答数 構成比(%)	16 1.3	122 9.5	605 47.3	336 26.3	159 12.4	42 3.3
	㉓ 工業の振興	回答数 構成比(%)	11 0.9	72 5.6	809 63.2	239 18.7	99 7.7	50 3.9
	㉔ 観光・レクリエーションの振興	回答数 構成比(%)	15 1.2	101 7.9	739 57.7	258 20.2	119 9.3	48 3.8
	㉕ 新たな産業の誘致・育成	回答数 構成比(%)	15 1.2	50 3.9	798 62.3	233 18.2	133 10.4	51 4.0
	㉖ 消費者保護の推進	回答数 構成比(%)	28 2.2	164 12.8	858 67.0	139 10.9	44 3.4	47 3.7
	㉗ 住みたくなるまち、働きたくなるまちの構築	回答数 構成比(%)	29 2.3	141 11.0	767 59.9	206 16.1	94 7.3	43 3.4
教育・文化	㉘ 社会を生き抜く力を身につける教育	回答数 構成比(%)	19 1.5	182 14.2	837 65.4	151 11.8	34 2.7	57 4.5
	㉙ 安心して学べる教育環境の整備	回答数 構成比(%)	46 3.6	285 22.3	747 58.4	109 8.5	44 3.4	49 3.8
	㉚ 生涯にわたって学べる環境の整備	回答数 構成比(%)	31 2.4	220 17.2	788 61.6	154 12.0	40 3.1	47 3.7
	㉛ 郷土の文化の継承と文化財の保護	回答数 構成比(%)	21 1.6	169 13.2	911 71.2	113 8.8	21 1.6	45 3.5
環境	㉜ 自然環境の保全	回答数 構成比(%)	24 1.9	181 14.1	863 67.4	137 10.7	29 2.3	46 3.6
	㉝ 循環型社会の形成	回答数 構成比(%)	75 5.9	378 29.5	639 49.9	119 9.3	24 1.9	45 3.5
	㉞ 低炭素社会の形成	回答数 構成比(%)	30 2.3	139 10.9	876 68.4	148 11.6	40 3.1	47 3.7
行財政運営等	㉟ 住民主体のまちづくりの推進	回答数 構成比(%)	22 1.7	155 12.1	890 69.5	132 10.3	31 2.4	50 3.9
	㊱ 多様な交流の推進	回答数 構成比(%)	26 2.0	141 11.0	933 72.9	103 8.0	33 2.6	44 3.4
	㊲ 人権尊重と男女共同参画の推進	回答数 構成比(%)	21 1.6	105 8.2	996 77.8	82 6.4	23 1.8	53 4.1
	㊳ 行政の合理化・効率化	回答数 構成比(%)	21 1.6	115 9.0	869 67.9	162 12.7	64 5.0	49 3.8
	㊴ 財政の合理化・効率化	回答数 構成比(%)	17 1.3	127 9.9	838 65.5	164 12.8	83 6.5	51 4.0
	㊵ 広域行政の推進	回答数 構成比(%)	19 1.5	117 9.1	912 71.3	135 10.5	54 4.2	43 3.4



■満足している ■やや満足している □どちらともいえない ■やや不満である □不満である □無回答・誤回答

【B 将来の重要度】

		5	4	3	2	1	-	
		重要 である	やや重要 である	どちらとも いえない	あまり重要 でない	重要 でない	無回答・ 誤回答	
生活環境 (都市基盤・住宅)	① 計画的土地利用の推進	回答数 構成比(%)	335 26.2	424 33.1	361 28.2	60 4.7	14 1.1	86 6.7
	② 道路の整備	回答数 構成比(%)	511 39.9	481 37.6	194 15.2	31 2.4	6 0.5	57 4.5
	③ 交通体系の整備	回答数 構成比(%)	560 43.8	407 31.8	218 17.0	30 2.3	5 0.4	60 4.7
	④ 上水道の整備	回答数 構成比(%)	523 40.9	414 32.3	261 20.4	15 1.2	2 0.2	65 5.1
	⑤ 下水道の整備	回答数 構成比(%)	520 40.6	392 30.6	281 22.0	19 1.5	7 0.5	61 4.8
	⑥ 河川の整備	回答数 構成比(%)	602 47.0	349 27.3	231 18.0	28 2.2	9 0.7	61 4.8
	⑦ 公園・緑地の整備と緑化の推進	回答数 構成比(%)	233 18.2	466 36.4	427 33.4	85 6.6	6 0.5	63 4.9
	⑧ 情報通信網の整備・充実	回答数 構成比(%)	481 37.6	402 31.4	302 23.6	20 1.6	6 0.5	69 5.4
	⑨ 景観の形成	回答数 構成比(%)	168 13.1	399 31.2	537 42.0	84 6.6	19 1.5	73 5.7
	⑩ 住宅地・住宅の整備	回答数 構成比(%)	387 30.2	471 36.8	326 25.5	25 2.0	8 0.6	63 4.9
防災・防犯	⑪ 消防・救急体制の強化	回答数 構成比(%)	514 40.2	428 33.4	255 19.9	17 1.3	5 0.4	61 4.8
	⑫ 防災の推進	回答数 構成比(%)	595 46.5	366 28.6	231 18.0	16 1.3	5 0.4	67 5.2
	⑬ 防犯・交通安全対策の推進	回答数 構成比(%)	514 40.2	437 34.1	256 20.0	10 0.8	2 0.2	61 4.8
健康・福祉	⑭ 地域福祉の充実	回答数 構成比(%)	419 32.7	525 41.0	253 19.8	19 1.5	4 0.3	60 4.7
	⑮ 子育て支援の充実	回答数 構成比(%)	546 42.7	406 31.7	247 19.3	14 1.1	4 0.3	63 4.9
	⑯ 高齢者福祉の充実	回答数 構成比(%)	567 44.3	454 35.5	183 14.3	18 1.4	4 0.3	54 4.2
	⑰ 障害者福祉の充実	回答数 構成比(%)	441 34.5	436 34.1	321 25.1	14 1.1	8 0.6	60 4.7
	⑱ 保健の充実	回答数 構成比(%)	493 38.5	474 37.0	240 18.8	8 0.6	3 0.2	62 4.8
	⑲ 医療の充実	回答数 構成比(%)	767 59.9	330 25.8	110 8.6	11 0.9	6 0.5	56 4.4
	⑳ 社会保険制度の充実	回答数 構成比(%)	559 43.7	428 33.4	214 16.7	17 1.3	1 0.1	61 4.8
	産業	㉑ 農林業の振興	回答数 構成比(%)	282 22.0	406 31.7	470 36.7	47 3.7	11 0.9
㉒ 商業の振興		回答数 構成比(%)	360 28.1	479 37.4	332 25.9	42 3.3	14 1.1	53 4.1
㉓ 工業の振興		回答数 構成比(%)	258 20.2	396 30.9	491 38.4	54 4.2	16 1.3	65 5.1
㉔ 観光・レクリエーションの振興		回答数 構成比(%)	245 19.1	426 33.3	467 36.5	65 5.1	22 1.7	55 4.3
㉕ 新たな産業の誘致・育成		回答数 構成比(%)	334 26.1	444 34.7	388 30.3	42 3.3	16 1.3	56 4.4
㉖ 消費者保護の推進		回答数 構成比(%)	318 24.8	461 36.0	400 31.3	32 2.5	9 0.7	60 4.7
㉗ 住みたくなるまち、働きたくなるまちの構築		回答数 構成比(%)	358 28.0	442 34.5	374 29.2	39 3.0	11 0.9	56 4.4
教育・文化	㉘ 社会を生き抜く力を身につける教育	回答数 構成比(%)	398 31.1	458 35.8	326 25.5	24 1.9	6 0.5	68 5.3
	㉙ 安心して学べる教育環境の整備	回答数 構成比(%)	498 38.9	432 33.8	272 21.3	15 1.2	8 0.6	55 4.3
	㉚ 生涯にわたって学べる環境の整備	回答数 構成比(%)	269 21.0	470 36.7	427 33.4	51 4.0	8 0.6	55 4.3
	㉛ 郷土の文化の継承と文化財の保護	回答数 構成比(%)	186 14.5	403 31.5	545 42.6	78 6.1	12 0.9	56 4.4
環境	㉜ 自然環境の保全	回答数 構成比(%)	277 21.6	455 35.5	440 34.4	46 3.6	6 0.5	56 4.4
	㉝ 循環型社会の形成	回答数 構成比(%)	468 36.6	498 38.9	247 19.3	11 0.9	5 0.4	51 4.0
	㉞ 低炭素社会の形成	回答数 構成比(%)	412 32.2	435 34.0	349 27.3	25 2.0	7 0.5	52 4.1
行財政運営等	㉟ 住民主体のまちづくりの推進	回答数 構成比(%)	225 17.6	435 34.0	516 40.3	39 3.0	8 0.6	57 4.5
	㊱ 多様な交流の推進	回答数 構成比(%)	148 11.6	357 27.9	593 46.3	106 8.3	23 1.8	53 4.1
	㊲ 人権尊重と男女共同参画の推進	回答数 構成比(%)	189 14.8	329 25.7	613 47.9	72 5.6	12 0.9	65 5.1
	㊳ 行政の合理化・効率化	回答数 構成比(%)	294 23.0	422 33.0	466 36.4	34 2.7	7 0.5	57 4.5
	㊴ 財政の合理化・効率化	回答数 構成比(%)	383 29.9	417 32.6	401 31.3	16 1.3	4 0.3	59 4.6
	㊵ 広域行政の推進	回答数 構成比(%)	307 24.0	420 32.8	459 35.9	34 2.7	8 0.6	52 4.1

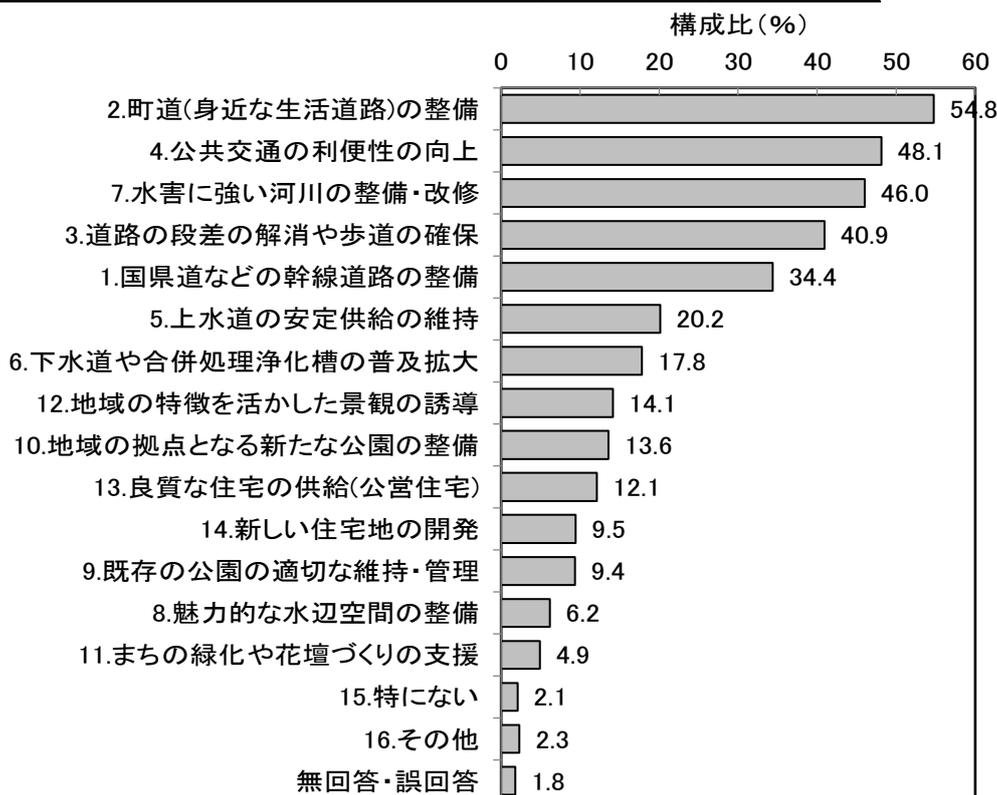


2-IV これからのまちづくりにおいて重視する取組

問 16 市街地や集落の居住環境をより快適なものにするために、特に優先的に取り組む必要があると思うものは何ですか？（あてはまるものを4つまで選んで○）

- 「町道（身近な生活道路）の整備」が54.8%と特に多く、過半数の回答者が選択している。
- 次いで「公共交通の利便性の向上」、「水害に強い河川の整備・改修」、「道路の段差の解消や歩道の確保」、「国県道などの幹線道路の整備」が多く、それぞれ48.1%、46.0%、40.9%、34.4%となっており、道路・交通分野の取組が期待される傾向が窺える。
- 「その他」では、道路や交通の便に関する「通学路の整備」「生活道路に大型車を入れない仕組み」「鉄道が欲しい」「自動運転車への対応」等の記載や、「大型商業施設」「24時間営業のコンビニ、スーパー、薬局」等の店舗の誘導、「増加する空き家の対策」「放置された土地の活用」「治安（防犯カメラ等）」「地域コミュニティの活性化」等の記載が見られる。

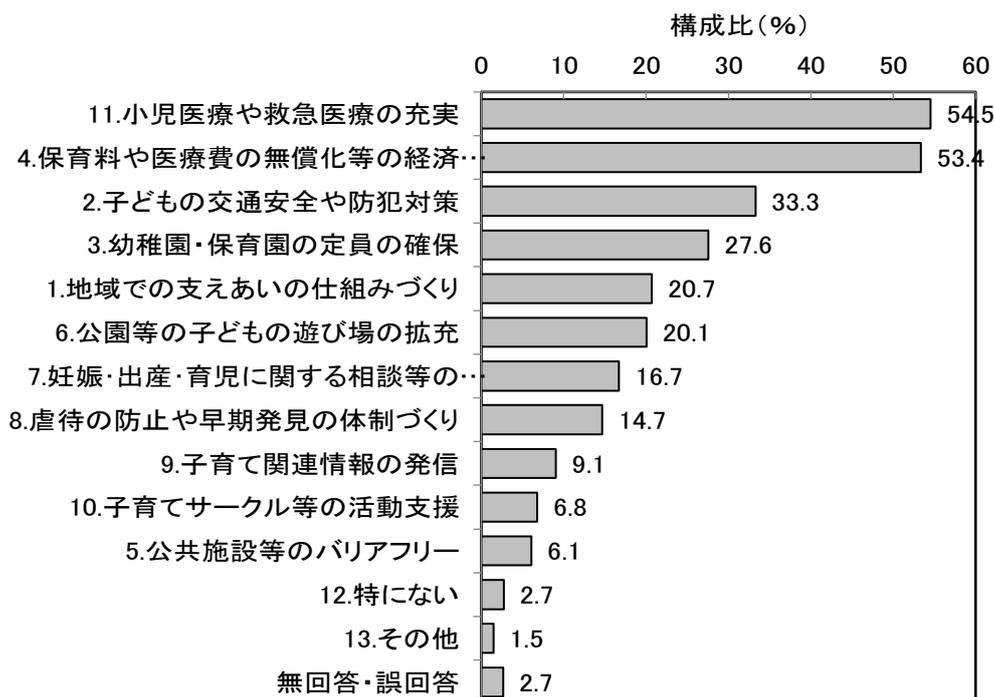
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	国県道などの幹線道路の整備	440	34.4
2	町道(身近な生活道路)の整備	701	54.8
3	道路の段差の解消や歩道の確保	524	40.9
4	公共交通の利便性の向上	616	48.1
5	上水道の安定供給の維持	258	20.2
6	下水道や合併処理浄化槽の普及拡大	228	17.8
7	水害に強い河川の整備・改修	589	46.0
8	魅力的な水辺空間の整備	79	6.2
9	既存の公園の適切な維持・管理	120	9.4
10	地域の拠点となる新たな公園の整備	174	13.6
11	まちの緑化や花壇づくりの支援	63	4.9
12	地域の特徴を活かした景観の誘導	181	14.1
13	良質な住宅の供給(公営住宅)	155	12.1
14	新しい住宅地の開発	121	9.5
15	特にない	27	2.1
16	その他	30	2.3
-	無回答・誤回答	23	1.8
	回答者数	1280	100.0



問 17 次代を担う子どもたちを安心して産み育てることができるまちづくりを進める上で、特に優先的に取り組む必要があると思うものは何ですか？（あてはまるものを3つまで選んで○）

- 「小児医療や救急医療の充実」が54.5%、「保育料や医療費の無償化等の経済的支援の拡充」が53.4%と特に多く、過半数の回答者が選択している。
- 次いで「子どもの交通安全や防犯対策」や「幼稚園・保育園の定員の確保」が多く、それぞれ33.3%、27.6%となっている。
- 「その他」では、「保育士の質、給料を上げる」「町内に出産ができる医療施設をつくる」「夫の協力が必要」「兵庫県明石市の政策を参考にして欲しい」等の記載が見られる。
- また、「そもそも若い世代が住みたいと思える町づくりが必要」「良質な住宅の供給」「交通機関の充実」「他地域から転入したくなるような経済支援」といった広義の子育て環境に関する意見や、「小さい子への支援は充実している一方、大学生への支援が全くない」「高等教育の支援（無償奨学金等）」「高校以上の学校への通学の利便性」といった記載も見られる。

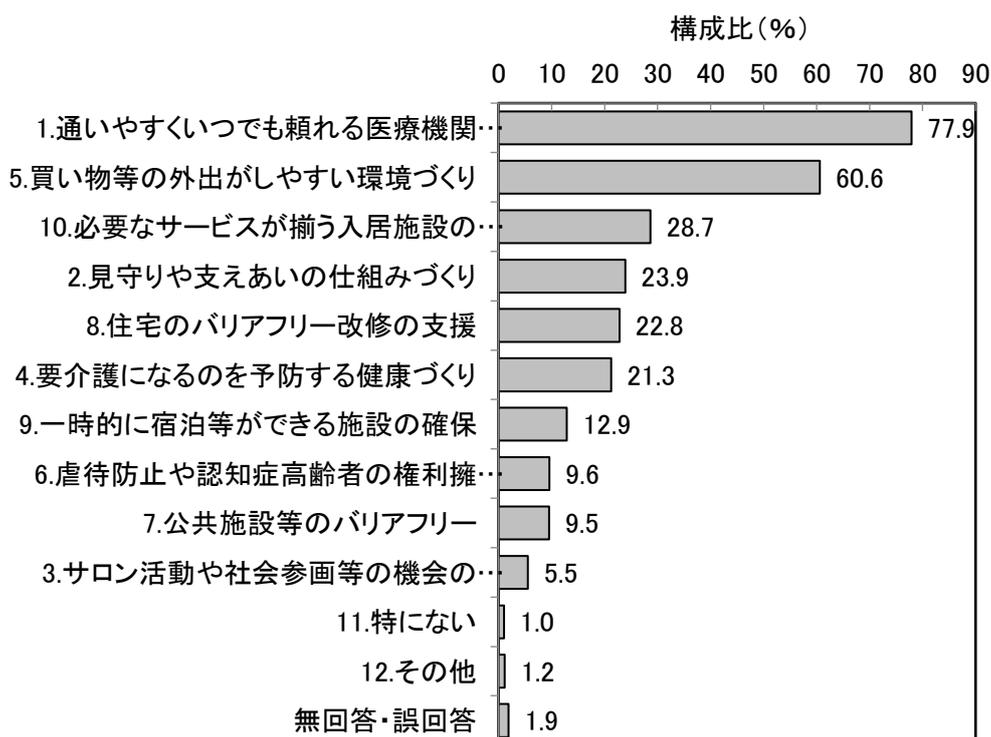
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	地域での支えあいの仕組みづくり	265	20.7
2	子どもの交通安全や防犯対策	426	33.3
3	幼稚園・保育園の定員の確保	353	27.6
4	保育料や医療費の無償化等の経済的支援の拡充	683	53.4
5	公共施設等のバリアフリー	78	6.1
6	公園等の子どもの遊び場の拡充	257	20.1
7	妊娠・出産・育児に関する相談等の充実	214	16.7
8	虐待の防止や早期発見の体制づくり	188	14.7
9	子育て関連情報の発信	116	9.1
10	子育てサークル等の活動支援	87	6.8
11	小児医療や救急医療の充実	698	54.5
12	特にない	35	2.7
13	その他	19	1.5
-	無回答・誤回答	34	2.7
	回答者数	1280	100.0



問 18 高齢になっても、あるいは障害があっても、安心して暮らし続ける町であるために、特に優先的に取り組む必要があると思うものは何ですか？（あてはまるものを3つまで選んで○）

- 「通いやすくいつでも頼れる医療機関の確保」が77.9%と特に多く、8割弱の回答者が選択している。
- 次いで「買い物等の外出がしやすい環境づくり」が多く、60.6%となっている。
- これらと比べるとその他の選択肢はやや回答が少なく、「必要なサービスが揃う入居施設の確保」、「見守りや支えあいの仕組みづくり」、「住宅のバリアフリー改修の支援」、「要介護になるのを予防する健康づくり」なども20%台に留まっている。
- 「その他」では、「交通体系の整備」「公共交通の充実（タクシー的なもの）」等の高齢者の足の確保、「在宅介護できる環境」「介護が必要になった時すぐに入れる状態を」「ひとり暮らしの方への施策」等の介護関連や「自発的行動ができるきっかけ」「様々な病気を防ぐ勉強会」等の健康づくりに関する内容、「医療機関の誘致」「生活保護」「当事者にアンケートを」等の記載が見られる。

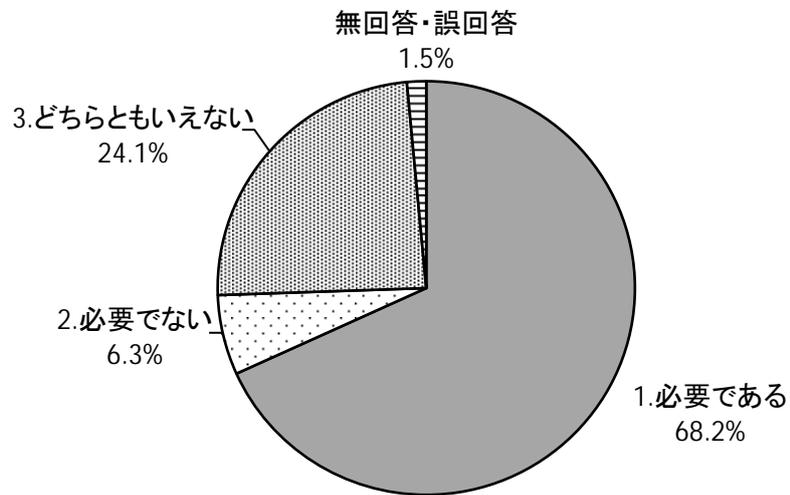
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	通いやすくいつでも頼れる医療機関の確保	997	77.9
2	見守りや支えあいの仕組みづくり	306	23.9
3	サロン活動や社会参画等の機会の充実	71	5.5
4	要介護になるのを予防する健康づくり	272	21.3
5	買い物等の外出がしやすい環境づくり	776	60.6
6	虐待防止や認知症高齢者の権利擁護の仕組みづくり	123	9.6
7	公共施設等のバリアフリー	122	9.5
8	住宅のバリアフリー改修の支援	292	22.8
9	一時的に宿泊等ができる施設の確保	165	12.9
10	必要なサービスが揃う入居施設の確保	367	28.7
11	特にない	13	1.0
12	その他	15	1.2
-	無回答・誤回答	24	1.9
	回答者数	1280	100.0



問 19 城里町に新たな病院が必要だと思いますか？（あてはまるもの1つに○）

- 「必要である」が68.2%で最も多くなっている。
- 「どちらともいえない」は24.1%、「必要でない」は僅か6.3%となっている。

No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	必要である	873	68.2
2	必要でない	80	6.3
3	どちらともいえない	308	24.1
-	無回答・誤回答	19	1.5
回答者数		1280	100.0

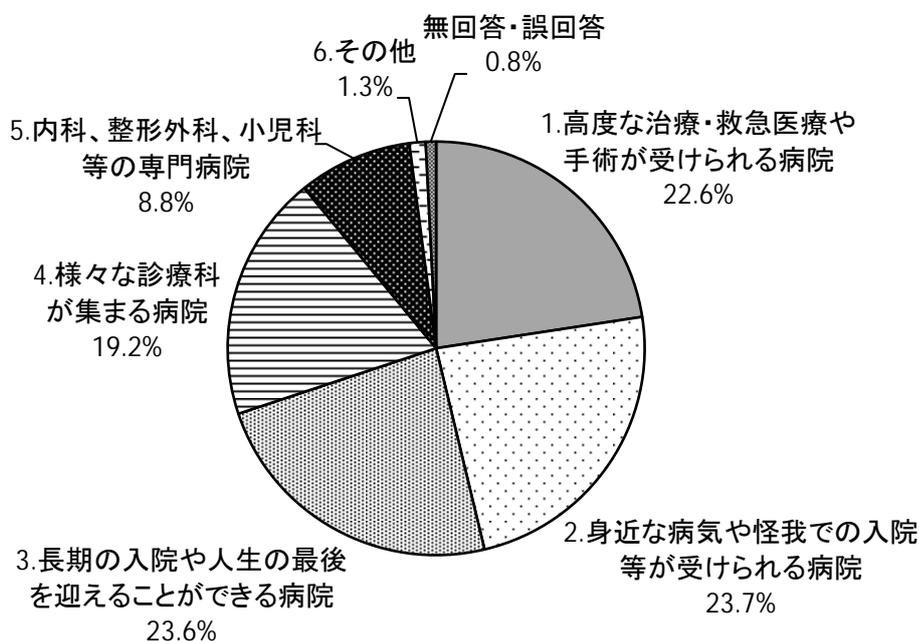


《問 19 で 1 に ○ をつけた方にお聞きします（その他の方は次頁の問 21 へお進みください）》

問 20 病院にも色々な種類がありますが、特にどのような病院が城里町に必要なと思いますか？
（あてはまるものを 1 つ選んで○）

- 「身近な病気や怪我での入院等が受けられる病院」が 23.7%で最も多くなっている。
- 「長期の入院や人生の最後を迎えることができる病院」、「高度な治療・救急医療や手術が受けられる病院」、「様々な診療科が集まる病院」も多く、いずれも 20%前後となっている。
- これらと比べると「内科、整形外科、小児科等の専門病院」はやや回答が少なくなっている。
- 「その他」では、「総合病院」「どんな時も受け入れOKの病院」「成人、小児を問わず救急時一時的にでも対応してくれる病院」「統合失調症等の通える病院」「在宅療養に協力的な病院」等の具体的な条件が挙げられている一方、「既に診療所やクリニック等があるので必要なし」の記載も見られる。
- 診療科については、以下の通り要望が寄せられている。
 - －13 件：小児科、産婦人科
 - －9 件：耳鼻科・耳鼻咽喉科
 - －5 件：眼科（「週 1 日でない眼科」を含む）
 - －6 件：整形外科
 - －5 件：内科、皮膚科
 - －1 件：外科、リハビリテーション科、脳外科、精神科、歯科

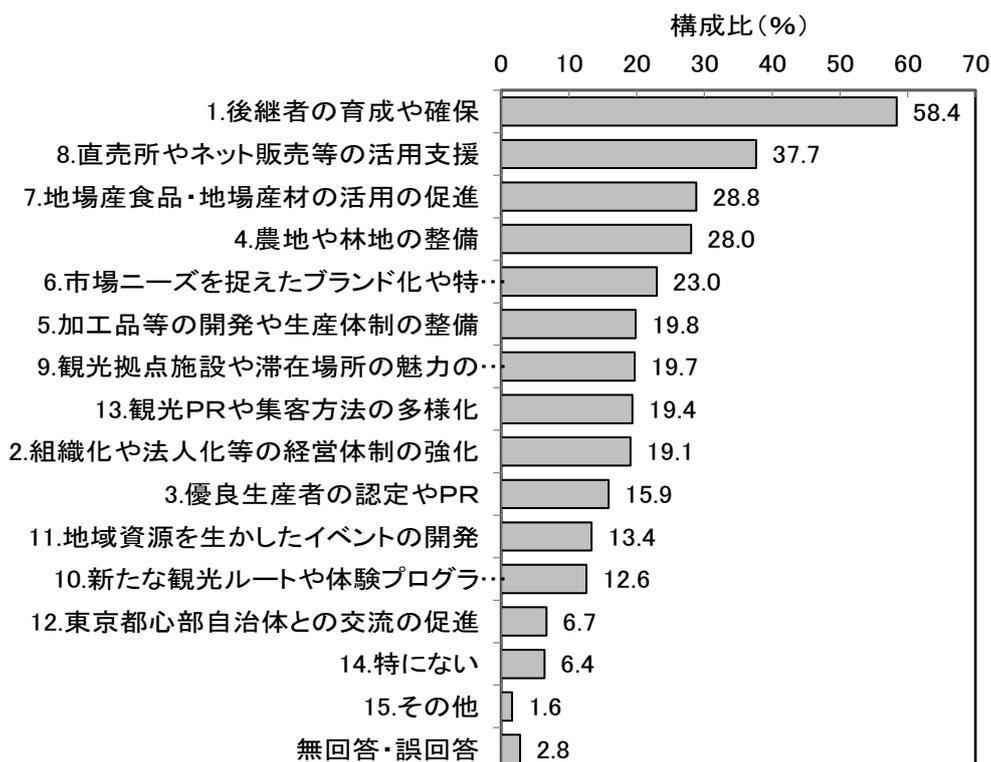
No.	選択肢	回答数	構成比 (%)
1	高度な治療・救急医療や手術が受けられる病院	197	22.6
2	身近な病気や怪我での入院等が受けられる病院	207	23.7
3	長期の入院や人生の最後を迎えることができる病院	206	23.6
4	様々な診療科が集まる病院	168	19.2
5	内科、整形外科、小児科等の専門病院	77	8.8
6	その他	11	1.3
-	無回答・誤回答	7	0.8
	回答者数	873	100.0



問 21 農林業や観光業を振興するために、特に優先的に取り組む必要があると思うものは何ですか？（あてはまるものを4つまで選んで○）

- 「後継者の育成や確保」が58.4%と特に多く、過半数の回答者が選択している。
- 次いで「直売所やネット販売等の活用支援」や「地場産食品・地場産材の活用の促進」、「農地や林地の整備」が多く、それぞれ37.7%、28.8%、28.0%となっている。
- 「地域資源を生かしたイベントの開発」や「新たな観光ルートや体験プログラム等の開発」、「東京都心部自治体との交流の促進」等の交流関連の選択肢は回答がやや少なくなっている。
- 「その他」では、「農機具の貸出や地域での共同利用」「耕作の委託先の確保」「農地を集約して運営する組織」等の農業振興策や、大型の道の駅等で農業と観光物産の両方を振興するという記載が見られる。観光については、「キャンプ人気をうまく利用すべき」「ダム湖周辺の山桜を利用した観光化」といった提案が寄せられる一方、「観光公害」を心配する声も見られる。

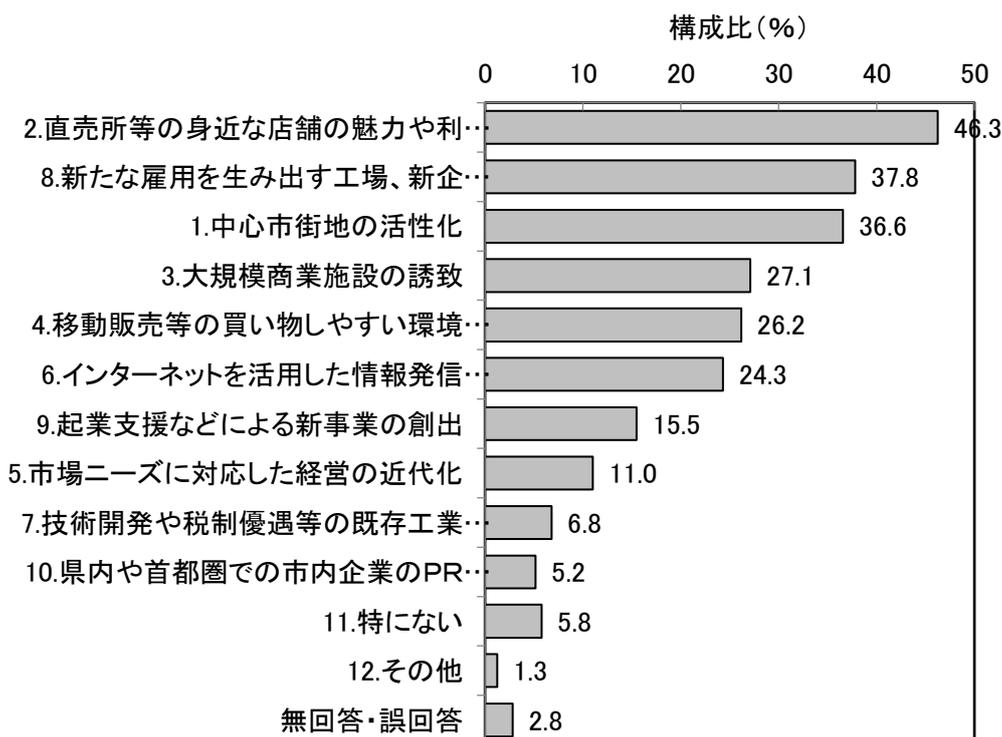
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	後継者の育成や確保	747	58.4
2	組織化や法人化等の経営体制の強化	244	19.1
3	優良生産者の認定やPR	203	15.9
4	農地や林地の整備	359	28.0
5	加工品等の開発や生産体制の整備	254	19.8
6	市場ニーズを捉えたブランド化や特産品の開発	294	23.0
7	地場産食品・地場産材の活用の促進	369	28.8
8	直売所やネット販売等の活用支援	482	37.7
9	観光拠点施設や滞在場所の魅力の向上	252	19.7
10	新たな観光ルートや体験プログラム等の開発	161	12.6
11	地域資源を生かしたイベントの開発	171	13.4
12	東京都心部自治体との交流の促進	86	6.7
13	観光PRや集客方法の多様化	248	19.4
14	特にない	82	6.4
15	その他	21	1.6
-	無回答・誤回答	36	2.8
	回答者数	1280	100.0



問 22 商工業を振興するために、特に優先的に取り組む必要があると思うものは何ですか？（あてはまるものを3つまで選んで○）

- 「直売所等の身近な店舗の魅力や利便性の向上」が46.3%と特に多く、約半数の回答者が選択している。
- 次いで「新たな雇用を生み出す工場、新企業の誘致」や「中心市街地の活性化」が多く、それぞれ37.8%、36.6%となっている。
- 「大規模商業施設の誘致」や「移動販売等の買い物しやすい環境の確保」、「インターネットを活用した情報発信や販売の強化」といった購買環境の改善に関する取組もやや多くなっている。
- 一方、「技術開発や税制優遇等の既存工業支援」や「県内や首都圏での市内企業のPRの強化」といった既存企業に対する支援は回答がやや少なくなっている。
- 「その他」では、「大型衣料品店」「ホームセンター」「ファミリーレストラン」「遊園地等の娯楽施設」等の施設誘致に関する要望や、商工業の振興につながる道路・交通網の整備、「事業保障」「就労支援、入社祝い金」等の記載が見られる。

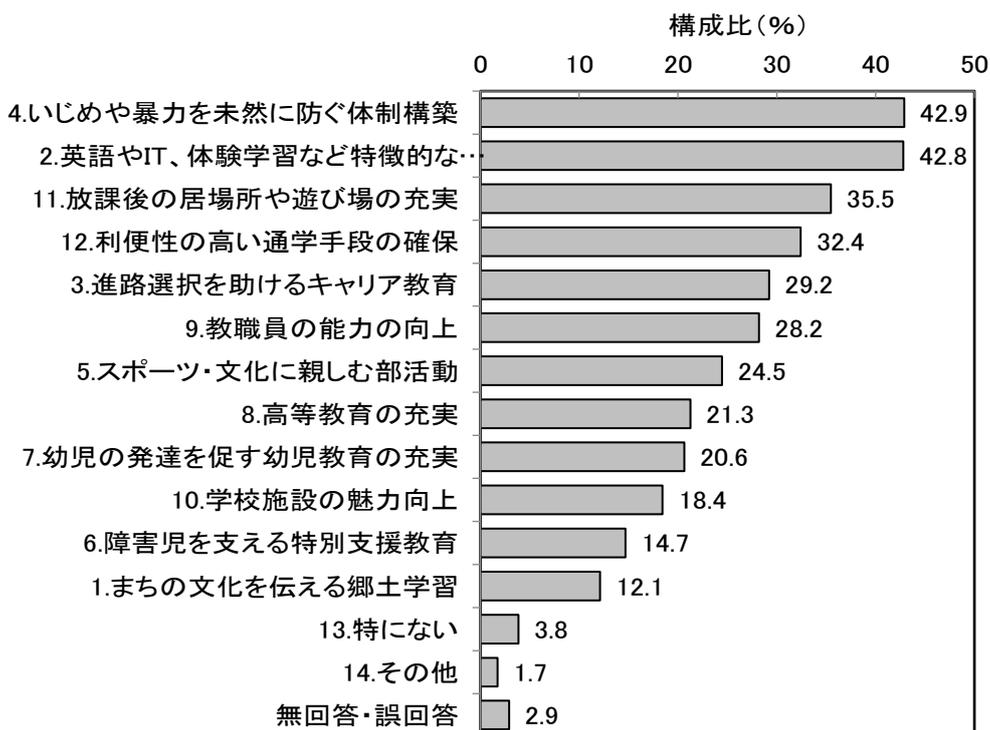
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	中心市街地の活性化	468	36.6
2	直売所等の身近な店舗の魅力や利便性の向上	592	46.3
3	大規模商業施設の誘致	347	27.1
4	移動販売等の買い物しやすい環境の確保	335	26.2
5	市場ニーズに対応した経営の近代化	141	11.0
6	インターネットを活用した情報発信や販売の強化	311	24.3
7	技術開発や税制優遇等の既存工業支援	87	6.8
8	新たな雇用を生み出す工場、新企業の誘致	484	37.8
9	起業支援などによる新事業の創出	198	15.5
10	県内や首都圏での市内企業のPRの強化	66	5.2
11	特にない	74	5.8
12	その他	16	1.3
-	無回答・誤回答	36	2.8
	回答者数	1280	100.0



問 23 子どもの教育環境をより良いものにするために、特に優先的に取り組む必要があると思うものは何ですか？（あてはまるものを4つまで選んで○）

- 「いじめや暴力を未然に防ぐ体制構築」が 42.9%「英語や IT、体験学習など特徴的な講座」が 42.8%と特に多くなっている。
- 次いで「放課後の居場所や遊び場の充実」や「利便性の高い通学手段の確保」など教育環境に関する取組が多く、それぞれ 35.5%、32.4%となっている。
- 一方、「まちの文化を伝える郷土学習」などは回答がやや少なくなっている。
- 「その他」では、学習の内容として「IT（必須条件となる）」「早期の社会教育」「マナー教育」「食育」「自然の中で育まれる教育」「地元を好きになる歴史を取り入れた教育」「国際交流・交換留学制度」等、通学について「通学路の安全」「安心して登下校できる環境（子ども同士が遊べる）」「自転車専用道路の整備」「水戸駅まで行くバスルートの改善」等、学習環境について「少人数教育」「勉強における他校との交流」「桂地区小学校1つに（桂中学校を桂小に）」「多様な学習支援（学校以外の学びの場）」「学習塾の整備」等、他にも、「いじめる側にもカウンセリング」「児童の保護体制の強化」「引きこもり対策」「親の指導」等の記載が見られる。

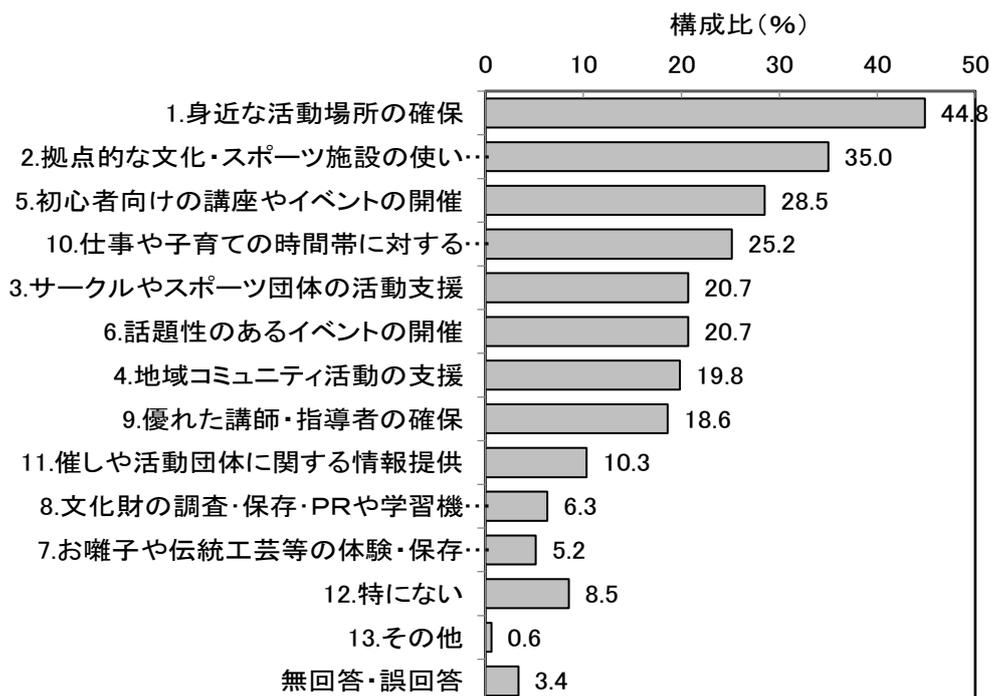
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	まちの文化を伝える郷土学習	155	12.1
2	英語やIT、体験学習など特徴的な講座	548	42.8
3	進路選択を助けるキャリア教育	374	29.2
4	いじめや暴力を未然に防ぐ体制構築	549	42.9
5	スポーツ・文化に親しむ部活動	313	24.5
6	障害児を支える特別支援教育	188	14.7
7	幼児の発達を促す幼児教育の充実	264	20.6
8	高等教育の充実	272	21.3
9	教職員の能力の向上	361	28.2
10	学校施設の魅力向上	236	18.4
11	放課後の居場所や遊び場の充実	454	35.5
12	利便性の高い通学手段の確保	415	32.4
13	特にない	49	3.8
14	その他	22	1.7
-	無回答・誤回答	37	2.9
	回答者数	1280	100.0



問 24 生涯学習・生涯スポーツ等の活動がより多くの参加者を獲得するために、特に優先的に取り組む必要があると思うものは何ですか？（あてはまるものを3つまで選んで○）

- 「身近な活動場所の確保」が44.8%、「拠点的な文化・スポーツ施設の使いやすさの向上」が35.0%と多くっており、活動場所に対するニーズが高い様子が窺える。
- 次いで「初心者向けの講座やイベントの開催」、「仕事や子育ての時間帯に対する配慮」が多く、それぞれ28.5%、25.2%となっている。
- 一方、「文化財の調査・保存・PRや学習機会の提供」や「お囃子や伝統工芸等の体験・保存活動」といった文化活動に関する取組は回答がやや少なくなっている。
- 「その他」では、「近隣自治体との連携PR（自治体をまたぐマラソン大会など）」「保健センター2Fをもっと充実して欲しい（土日開放）」「少数の参加者・当事者にアンケートをして下さい」等の記載が見られる。

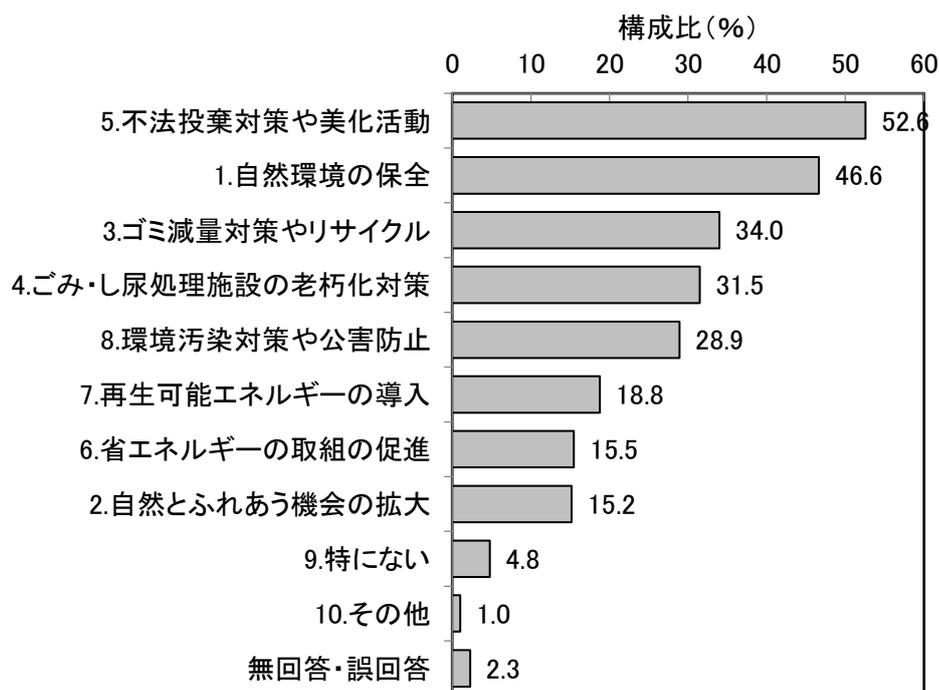
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	身近な活動場所の確保	574	44.8
2	拠点的な文化・スポーツ施設の使いやすさの向上	448	35.0
3	サークルやスポーツ団体の活動支援	265	20.7
4	地域コミュニティ活動の支援	254	19.8
5	初心者向けの講座やイベントの開催	365	28.5
6	話題性のあるイベントの開催	265	20.7
7	お囃子や伝統工芸等の体験・保存活動	66	5.2
8	文化財の調査・保存・PRや学習機会の提供	81	6.3
9	優れた講師・指導者の確保	238	18.6
10	仕事や子育ての時間帯に対する配慮	322	25.2
11	催しや活動団体に関する情報提供	132	10.3
12	特になし	109	8.5
13	その他	8	0.6
-	無回答・誤回答	43	3.4
回答者数		1280	100.0



問 25 市街地や集落を取り巻く環境を守り続けるために、特に優先的に取り組む必要があると思うものは何ですか？（あてはまるものを3つまで選んで○）

- 「不法投棄対策や美化活動」が52.6%、「自然環境の保全」が46.6%と多くなっており、市街地や周辺の自然環境の保全に関するニーズが高い様子が窺える。
- 次いで「ゴミ減量対策やリサイクル」や「ごみ・し尿処理施設の老朽化対策」といったごみ関連の取組も比較的多く、それぞれ34.0%、31.5%となっている。
- 一方、「再生可能エネルギーの導入」「省エネルギーの取組の促進」といったエネルギー関連の取組や、「自然とふれあう機会の拡大」は回答がやや少なくなっている。
- 「その他」では、「空き家対策」や「耕作放棄地対策」、「雑草等の視界を遮る草や木の除去」、「遊休地（耕作放棄地）の草刈り（蚊、ノダニ駆除）」といった取組のほか、野焼きについて「指定袋では雑草の始末が間に合わないので認めて欲しい」「公害問題だ（ビニール臭がひどい）」という異なる意見の記載も見られる。

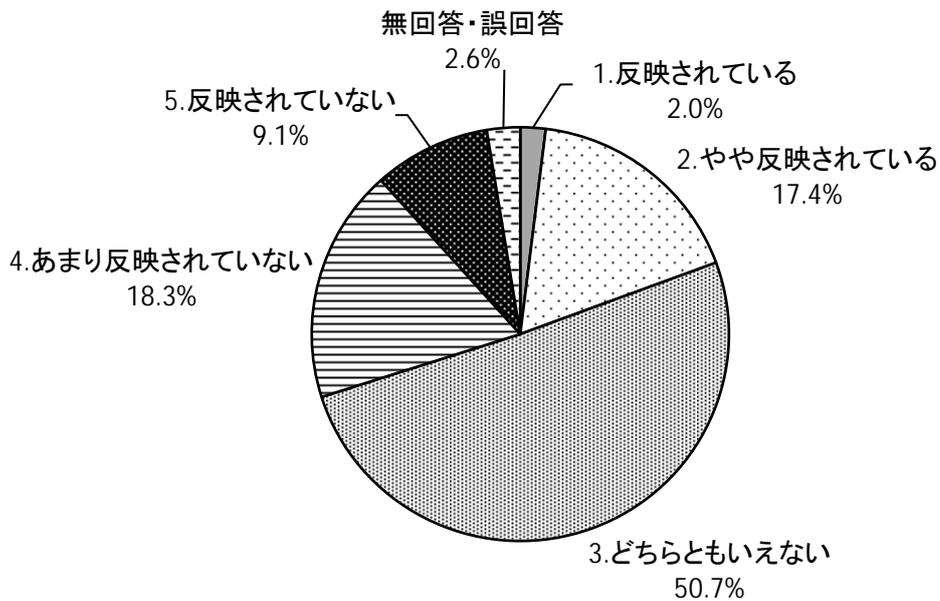
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	自然環境の保全	597	46.6
2	自然とふれあう機会の拡大	194	15.2
3	ゴミ減量対策やリサイクル	435	34.0
4	ごみ・し尿処理施設の老朽化対策	403	31.5
5	不法投棄対策や美化活動	673	52.6
6	省エネルギーの取組の促進	198	15.5
7	再生可能エネルギーの導入	240	18.8
8	環境汚染対策や公害防止	370	28.9
9	特にない	61	4.8
10	その他	13	1.0
-	無回答・誤回答	29	2.3
	回答者数	1280	100.0



問 26 町民の意見や要望が現在の町政に反映されていると思いますか？（あてはまるもの1つに○）

- 「どちらともいえない」が50.7%で最も多い。
- 次いで「あまり反映されていない」、「やや反映されている」が多く、それぞれ18.3%、17.4%となっている。
- 「反映されている」「やや反映されている」の合計は19.4%、「反映されていない」「あまり反映されていない」の合計は27.3%で、町民の意見や要望が調整に「反映されていない」と考える回答者が多くなっている。

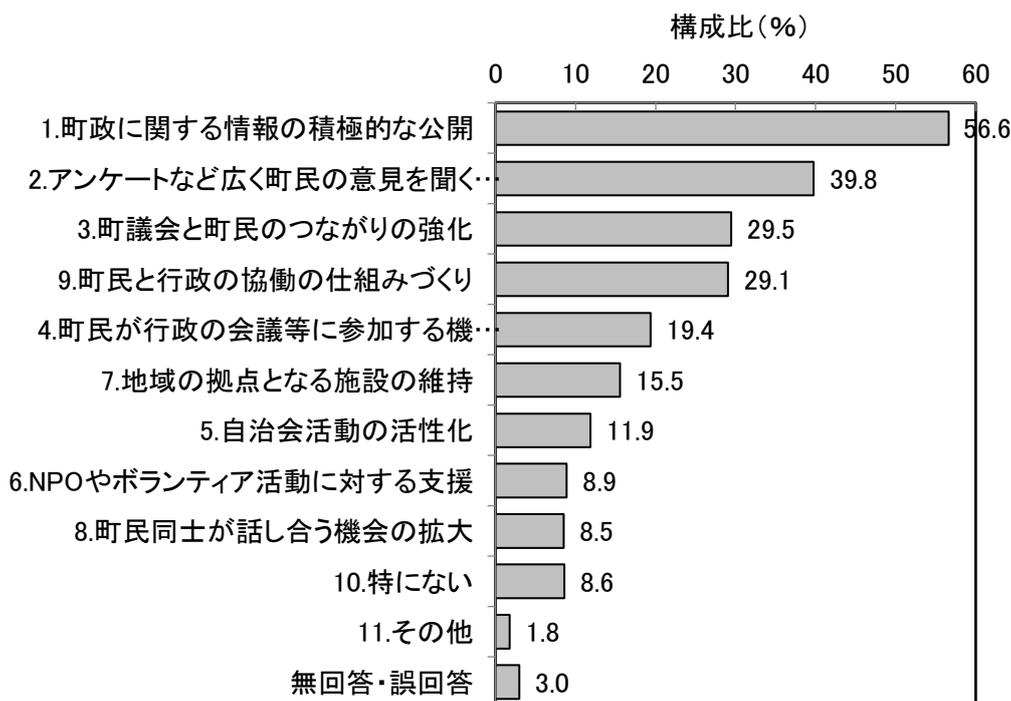
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	反映されている	25	2.0
2	やや反映されている	223	17.4
3	どちらともいえない	649	50.7
4	あまり反映されていない	234	18.3
5	反映されていない	116	9.1
-	無回答・誤回答	33	2.6
	回答者数	1280	100.0



問 27 住民の意見や要望を町政に反映するために、特に優先的に取り組む必要があると思うものは何ですか？（あてはまるものを3つまで選んで○）

- 「町政に関する情報の積極的な公開」が56.6%で最も多くなっている。
- 次いで「アンケートなど広く町民の意見を聞く機会の拡大」や「町議会と町民のつながりの強化」、「町民と行政の協働の仕組みづくり」などが多く、それぞれ39.8%、29.5%、29.1%となっている。
- 一方、「自治会活動の活性化」や「NPOやボランティア活動に対する支援」、「町民同士が話し合う機会の拡大」といった住民自身による活動に関する内容の回答がやや少なくなっている。
- 「その他」では、「若い人にはネットで（若い町民の意見を積極的に聞く機会を拡大する）」「高齢者にはもっと分かりやすい内容のアンケートを」といった意見収集の方法のほか、「アンケートの結果が知りたい」「意見箱の意見や回答を公表すべき」「要望に対する採用の可否や、採用された場合のロードマップの開示を期待する」等の記載が見られる。

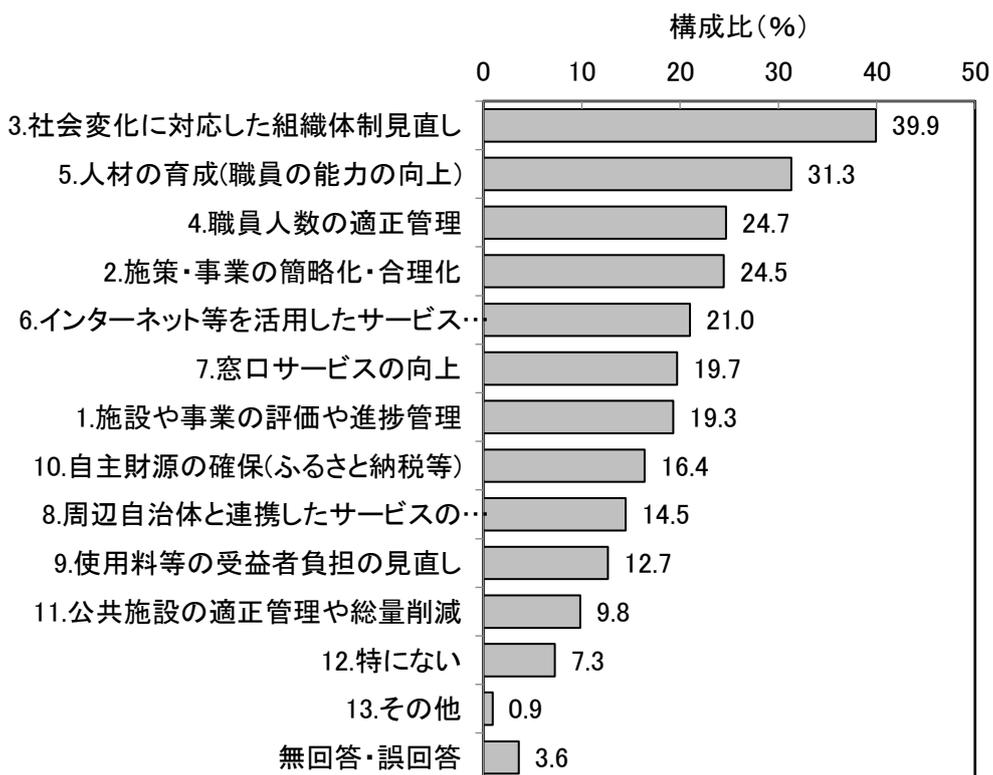
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	町政に関する情報の積極的な公開	725	56.6
2	アンケートなど広く町民の意見を聞く機会の拡大	509	39.8
3	町議会と町民のつながりの強化	377	29.5
4	町民が行政の会議等に参加する機会の拡大	248	19.4
5	自治会活動の活性化	152	11.9
6	NPOやボランティア活動に対する支援	114	8.9
7	地域の拠点となる施設の維持	199	15.5
8	町民同士が話し合う機会の拡大	109	8.5
9	町民と行政の協働の仕組みづくり	372	29.1
10	特にない	110	8.6
11	その他	23	1.8
-	無回答・誤回答	38	3.0
	回答者数	1280	100.0



問 28 町政を合理的かつ効率的に進めるために、特に優先的に取り組む必要があると思うものは何ですか？（あてはまるものを3つまで選んで○）

- 「社会変化に対応した組織体制見直し」が39.9%で最も多くなっている。
- 次いで「人材の育成(職員の能力の向上)」や「職員人数の適正管理」、「施策・事業の簡略化・合理化」がそれぞれ31.3%、24.7%、24.5%と多くなっており、行政システムの効率化等に関するニーズが高い様子が窺える。
- 一方、「使用料等の受益者負担の見直し」や「公共施設の適正管理や総量削減」といった行政サービスの低下(同等のサービスに対する負担増を含む)につながるような取組は回答がやや少なくなっている。
- 「その他」では、町議の定数削減や給与見直しに関する意見や、「専門家の意見を聞き、その中から取捨選択して城里町に最適な施策を」「役場職員を増やし、一人ひとりの負担を軽減」「行政データ等をインターネットで検索を可能とし行政事務を効率化」等の記載が見られる。

No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	施設や事業の評価や進捗管理	247	19.3
2	施策・事業の簡略化・合理化	313	24.5
3	社会変化に対応した組織体制見直し	511	39.9
4	職員人数の適正管理	316	24.7
5	人材の育成(職員の能力の向上)	401	31.3
6	インターネット等を活用したサービスの効率化	269	21.0
7	窓口サービスの向上	252	19.7
8	周辺自治体と連携したサービスの維持や効率化	185	14.5
9	使用料等の受益者負担の見直し	162	12.7
10	自主財源の確保(ふるさと納税等)	210	16.4
11	公共施設の適正管理や総量削減	126	9.8
12	特にない	93	7.3
13	その他	12	0.9
-	無回答・誤回答	46	3.6
	回答者数	1280	100.0



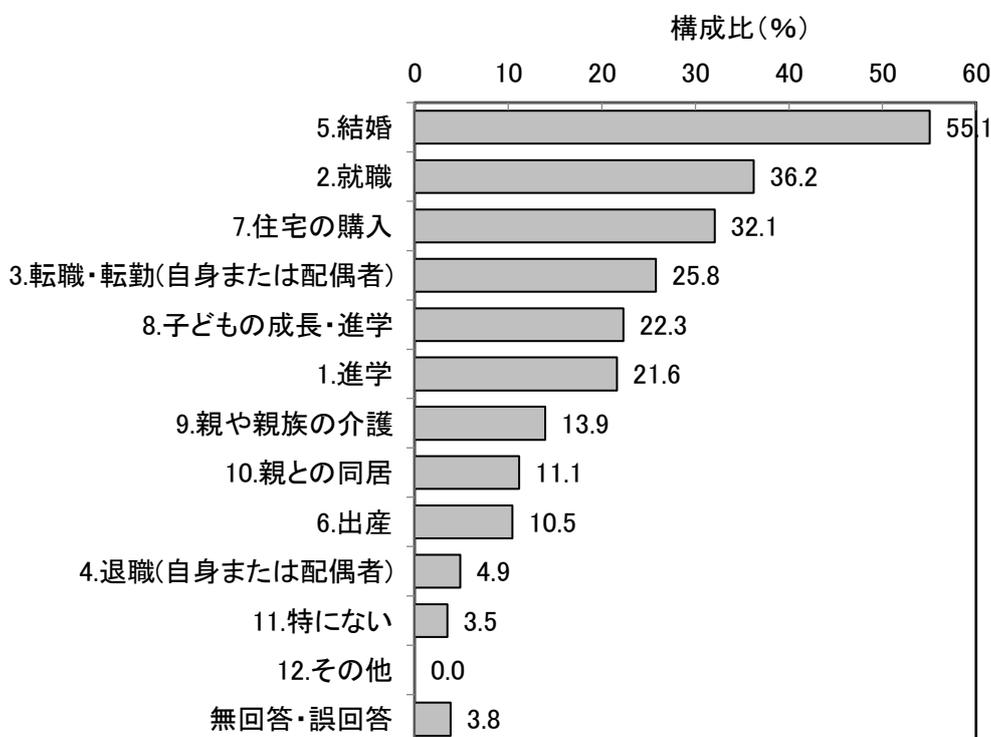
2 - V 町の人口減少対策に関する質問（別紙）

問A あなたが移住・定住について意識するのはどのようなタイミングですか？過去の経験と今後の予定の両方の視点からお答えください。（あてはまるものを3つまで選んで○）

- 「結婚」が55.1%で最も多い。
- 次いで「就職」、「住宅の購入」、「転職・転勤(自身または配偶者)」がそれぞれ36.2%、32.1%、25.8%と多くなっており、仕事の影響も大きい様子が窺える。
- 一方、「親や親族の介護」や「親との同居」、「退職」といった本人や家族の加齢に関わる選択肢は回答がやや少なくなっている。

No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	進学	62	21.6
2	就職	104	36.2
3	転職・転勤(自身または配偶者)	74	25.8
4	退職(自身または配偶者)	14	4.9
5	結婚	158	55.1
6	出産	30	10.5
7	住宅の購入	92	32.1
8	子どもの成長・進学	64	22.3
9	親や親族の介護	40	13.9
10	親との同居	32	11.1
11	特にない	10	3.5
12	その他	0	0.0
-	無回答・誤回答	11	3.8
	回答者数	287	100.0

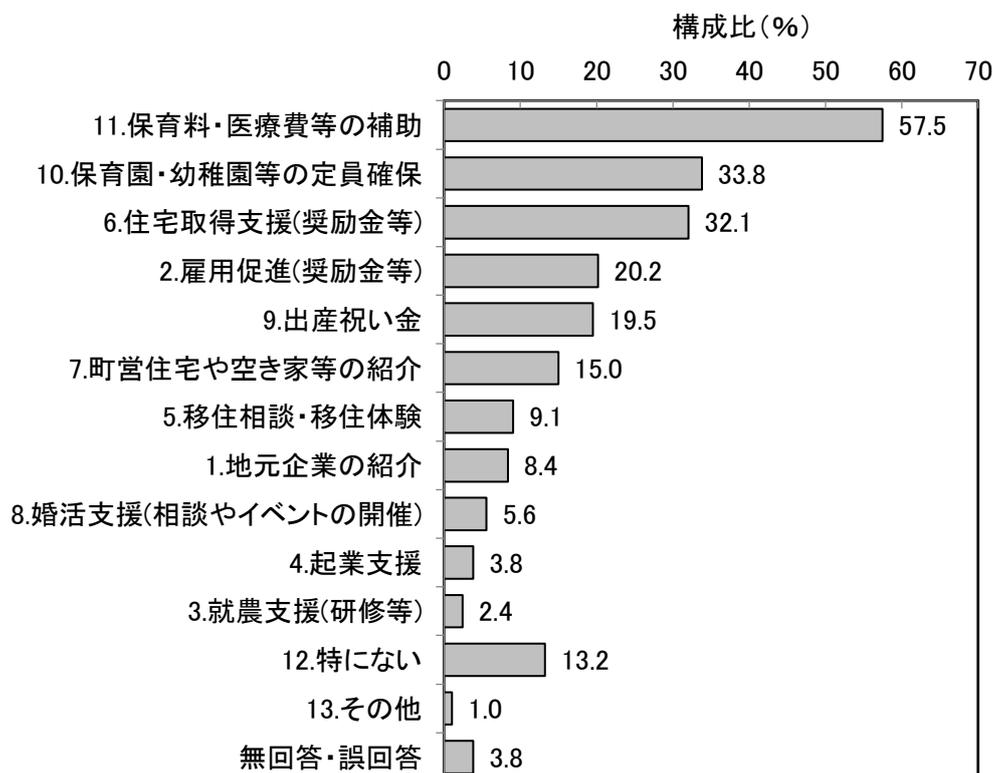
本設問は40歳未満の回答者287人を対象に実施・集計するものである（以下同様）



問B 移住・定住を考える上で、検討材料となる行政サービスは何ですか？（あてはまるものを3つまで選んで○）

- 「保育料・医療費等の補助」が57.5%で最も多い。
- 次いで「保育園・幼稚園等の定員確保」や「住宅取得支援(奨励金等)」も多く、それぞれ33.8%、32.1%、となっている。
- 一方、「婚活支援」や「起業支援」、「就農支援」といった選択肢は回答がやや少なくなっている。
- 「その他」では、「町として子どもをどう育てていくか、スポーツ文化に親しむ環境があるか」などの記載が見られる。

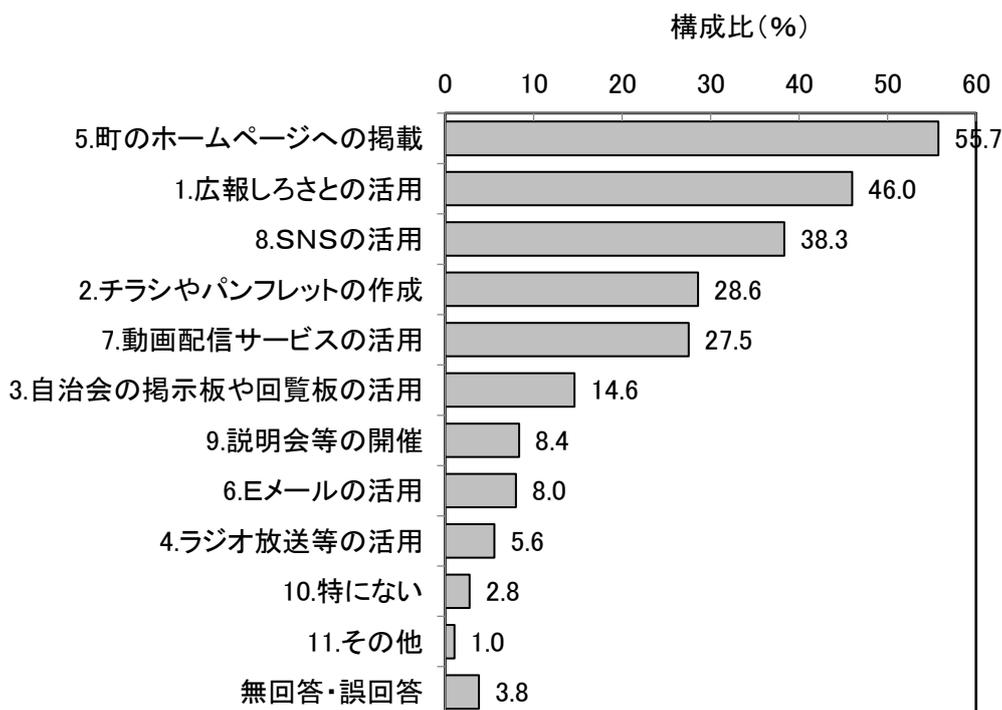
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	地元企業の紹介	24	8.4
2	雇用促進(奨励金等)	58	20.2
3	就農支援(研修等)	7	2.4
4	起業支援	11	3.8
5	移住相談・移住体験	26	9.1
6	住宅取得支援(奨励金等)	92	32.1
7	町営住宅や空き家等の紹介	43	15.0
8	婚活支援(相談やイベントの開催)	16	5.6
9	出産祝い金	56	19.5
10	保育園・幼稚園等の定員確保	97	33.8
11	保育料・医療費等の補助	165	57.5
12	特にない	38	13.2
13	その他	3	1.0
-	無回答・誤回答	11	3.8
	回答者数	287	100.0



問C こうした行政サービスに関する情報提供をどのような形で行うのが良いと思いますか？（あてはまるものを3つまで選んで○）

- 「町のホームページへの掲載」が55.7%で最も多い。
- 次いで「広報しろさとの活用」や「SNSの活用」、「チラシやパンフレットの作成」、「動画配信サービスの活用」が多く、それぞれ46.0%、38.3%、28.6%、27.5%となっている。
- 一方、「説明会等の開催」、「Eメールの活用」、「ラジオ放送等の活用」といった選択肢は回答がやや少なくなっている。
- その他では、「テレビ」のほか、「城里町を知らない人でも知ってもらえるよう“子育てしやすい町”“子育て優遇”等でインターネット検索した時にすぐ出てくるようにする」「無償で使えるサービスをもっと有効に使うべき！（中略）SNS発信は頻繁に面白いものも！」といった具体の提案の記載も見られる。

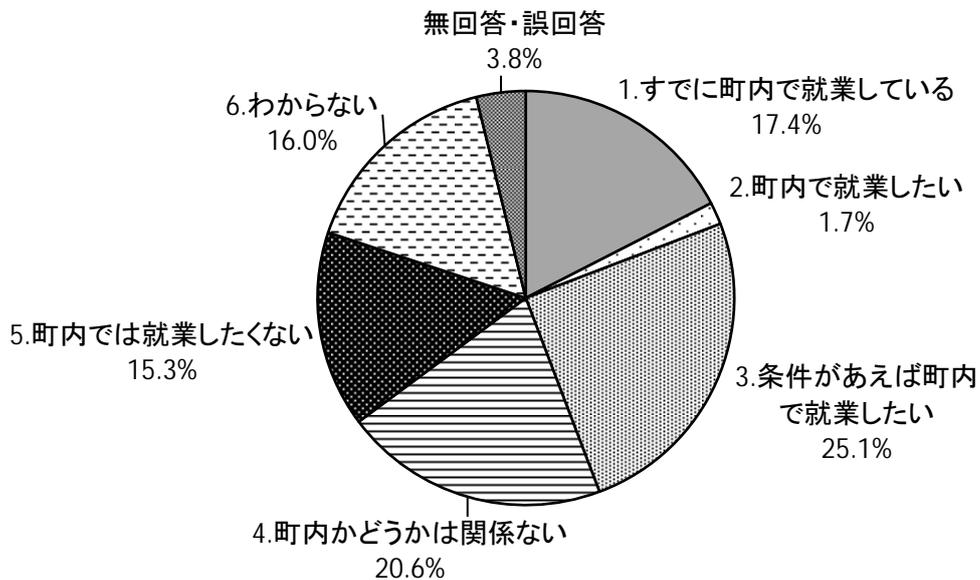
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	広報しろさとの活用	132	46.0
2	チラシやパンフレットの作成	82	28.6
3	自治会の掲示板や回覧板の活用	42	14.6
4	ラジオ放送等の活用	16	5.6
5	町のホームページへの掲載	160	55.7
6	Eメールの活用	23	8.0
7	動画配信サービスの活用	79	27.5
8	SNSの活用	110	38.3
9	説明会等の開催	24	8.4
10	特にない	8	2.8
11	その他	3	1.0
-	無回答・誤回答	11	3.8
	回答者数	287	100.0



問D 町内で働きたいという希望はありますか？（あてはまるもの1つに○）

- 「条件があれば町内で就業したい」が25.1%で最も多くなっている。
- 次いで「町内かどうかは関係ない」、「すでに町内で就業している」、「わからない」が多く、それぞれ20.6%、17.4%、16.0%となっている。
- 「町内で就業したい」と考える回答者は僅か1.7%に留まり、「町内では就業したくない」の13.7%よりも少なくなっているが、「条件があれば町内で就業したい」を含めると町内で就業したい回答者は26.8%で、「したくない」を大きく上回る結果となっている。

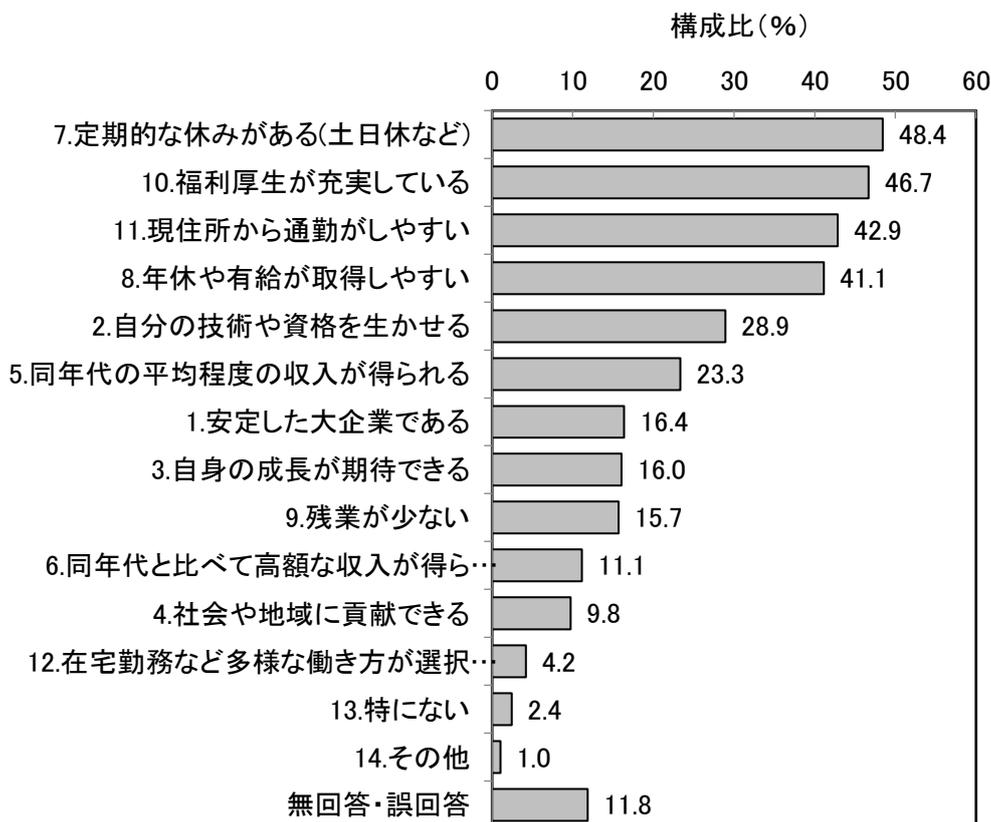
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	すでに町内で就業している	50	17.4
2	町内で就業したい	5	1.7
3	条件があれば町内で就業したい	72	25.1
4	町内かどうかは関係ない	59	20.6
5	町内では就業したくない	44	15.3
6	わからない	46	16.0
-	無回答・誤回答	11	3.8
	回答者数	287	100.0



問E 職場を選択する上で重視する条件は何ですか？（あてはまるものを4つまで選んで○）

- 「定期的な休みがある(土日休など)」が48.4%で最も多い。
- 次いで「福利厚生が充実している」や「現住所から通勤がしやすい」、「年休や有給が取得しやすい」が多く、それぞれ46.7%、42.9%、41.1%となっている。
- これらと比較するとその他の選択肢はやや回答が少なく、収入や安定性よりも健全な労働環境を重視する回答者が多い傾向が窺える。
- 「その他」では、「人間関係が良い」「家賃補助がある」「生活圏内に職場の知人がいない」の記載が見られる。

No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	安定した大企業である	47	16.4
2	自分の技術や資格を生かせる	83	28.9
3	自身の成長が期待できる	46	16.0
4	社会や地域に貢献できる	28	9.8
5	同年代の平均程度の収入が得られる	67	23.3
6	同年代と比べて高額な収入が得られる	32	11.1
7	定期的な休みがある(土日休など)	139	48.4
8	年休や有給が取得しやすい	118	41.1
9	残業が少ない	45	15.7
10	福利厚生が充実している	134	46.7
11	現住所から通勤がしやすい	123	42.9
12	在宅勤務など多様な働き方が選択できる	12	4.2
13	特にない	7	2.4
14	その他	3	1.0
-	無回答・誤回答	34	11.8
	回答者数	287	100.0

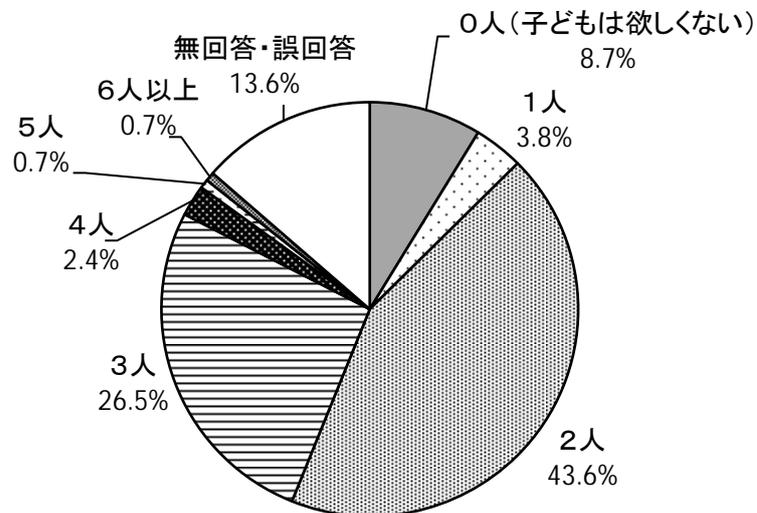


問F 理想の子どもの人数は何人ですか？（括弧内に数字を記入（子どもが欲しくない方はゼロを記入してください））

- 「2人」が43.6%で最も多い。
- 次いで「3人」、「0人」が多く、それぞれ26.5%、8.7%となっている。
- 人数を記載しなかった（下表では「無回答・誤回答」としてカウント）回答者も13.6%存在する。
- 人数を記載しなかった39人を除く回答者248人の平均は2.21人となっている。

No.	選択肢	回答数	構成比(%)
0	0人（子どもは欲しくない）	25	8.7
1	1人	11	3.8
2	2人	125	43.6
3	3人	76	26.5
4	4人	7	2.4
5	5人	2	0.7
6	6人以上	2	0.7
-	無回答・誤回答	39	13.6
回答者数		287	100.0

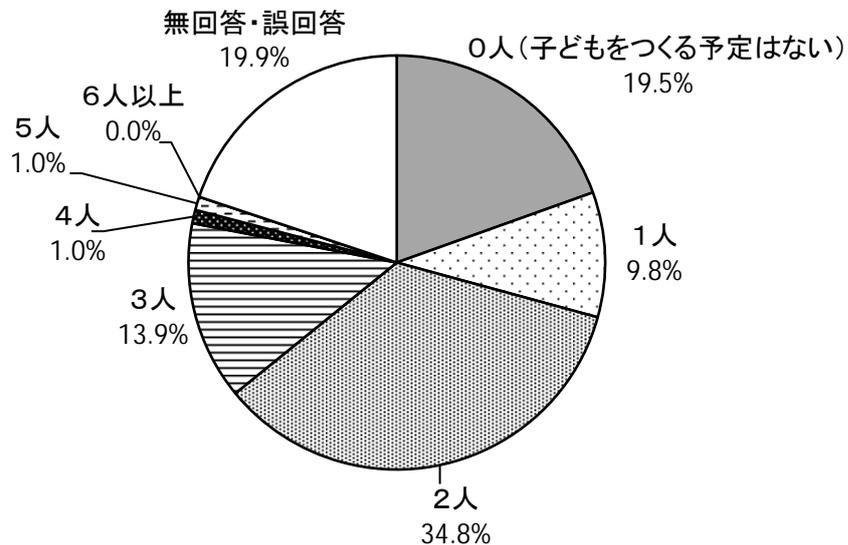
「9人」「11人」と回答した方、各1名を「6人以上」のカテゴリーで集計している



問G 予定の子どもの人数は何人ですか？これ以上子どもを増やす予定がない方は現在の人数をお答えください。（括弧内に数字を記入（同上））

- 「2人」が34.8%で最も多い。
- 次いで「0人」、「3人」、「1人」が多く、それぞれ19.5%、13.9%、9.8%となっている。
- 前設問（理想の人数）と比較して「2人」、「3人」またはそれ以上を選択する回答者が減少し、「0人」、「1人」が大きく増加する結果となっている。
- 人数を記載しなかった（下表では「無回答・誤回答」としてカウント）回答者も19.9%存在する。
- 人数を記載しなかった57人を除く回答者230人の平均は1.63人となっている。

No.	選択肢	回答数	構成比(%)
0	0人（子どもをつくる予定はない）	56	19.5
1	1人	28	9.8
2	2人	100	34.8
3	3人	40	13.9
4	4人	3	1.0
5	5人	3	1.0
6	6人以上	0	0.0
-	無回答・誤回答	57	19.9
	回答者数	287	100.0



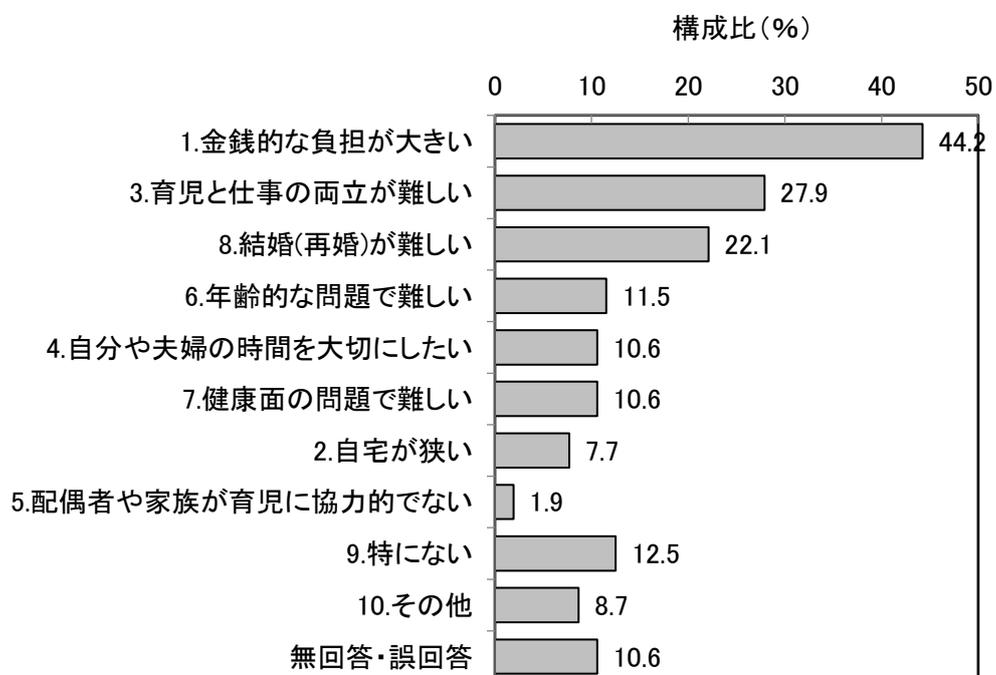
《理想の人数（問F）と予定の人数（問G）が異なる方にお聞きします（その他の方は問Iへ）》

問H 理想の人数と予定の人数が異なる理由は何ですか？（あてはまるものを3つまで選んで○）

- 「金銭的な負担が大きい」が44.2%で最も多い。
- 次いで「育児と仕事の両立が難しい」や「結婚(再婚)が難しい」が多く、それぞれ27.9%、22.1%となっている。
- 「配偶者や家族が育児に協力的でない」を選ぶ回答者はほとんど見られない。
- 「その他」では、「結婚していない」「まだ結婚の予定がない」（結婚や再婚が“難しい”という表現には該当しない）等の記載が見られる。

No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	金銭的な負担が大きい	46	44.2
2	自宅が狭い	8	7.7
3	育児と仕事の両立が難しい	29	27.9
4	自分や夫婦の時間を大切にしたい	11	10.6
5	配偶者や家族が育児に協力的でない	2	1.9
6	年齢的な問題で難しい	12	11.5
7	健康面の問題で難しい	11	10.6
8	結婚(再婚)が難しい	23	22.1
9	特にない	13	12.5
10	その他	9	8.7
-	無回答・誤回答	11	10.6
回答者数		104	100.0

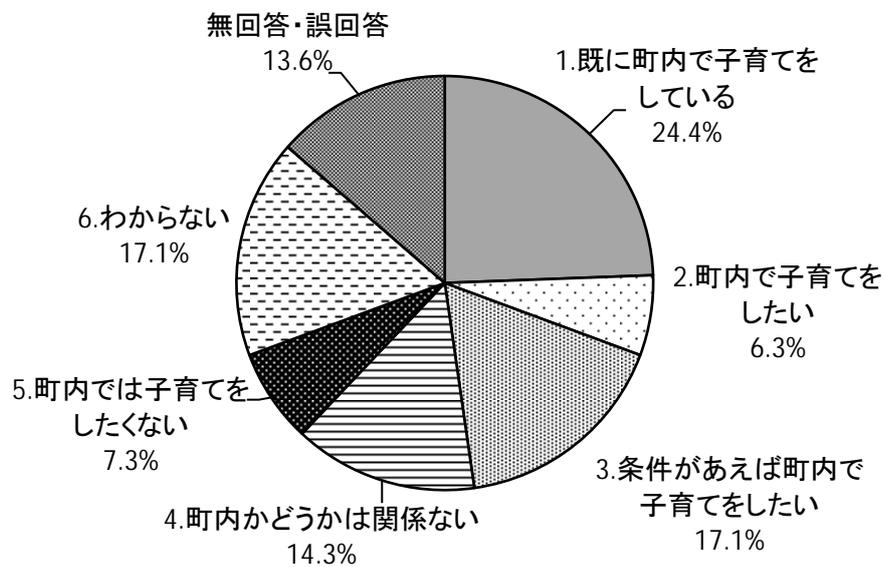
問Fと問Gの人数が異なる方104人（いずれかの人数が未記入だった方を除く）を対象に集計



問1 町内で子育てをしたいという希望はありますか？（あてはまるもの1つに○）

- 「既に町内で子育てをしている」が24.4%で最も多い。
- 次いで「条件があれば町内で子育てをしたい」、「わからない」、「町内かどうかは関係ない」が多く、それぞれ17.1%、17.1%、14.3%となっている。
- 「町内で子育てをしたい」と考える回答者は6.3%で、「町内で子育てをしたくない」の7.3%よりも僅かに少なくなっているが、「条件があれば町内で子育てをしたい」を含めると町内で子育てをしたい回答者は23.3%で、「したくない」を大きく上回る結果となっている。

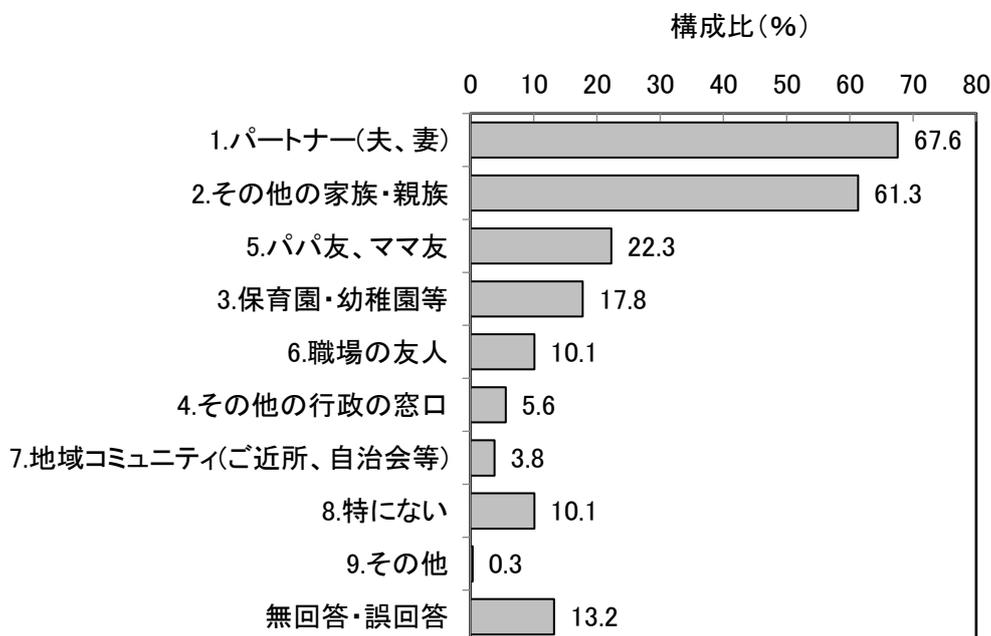
No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	既に町内で子育てをしている	70	24.4
2	町内で子育てをしたい	18	6.3
3	条件があれば町内で子育てをしたい	49	17.1
4	町内かどうかは関係ない	41	14.3
5	町内では子育てをしたくない	21	7.3
6	わからない	49	17.1
-	無回答・誤回答	39	13.6
	回答者数	287	100.0



問J 子育てについて相談したい、頼りたい相手は誰ですか？（あてはまるものを3つまで選んで○）

- 「パートナー(夫、妻)」が67.6%、「その他の家族・親族」が61.3%で特に多くなっている。
- 次いで「パパ友、ママ友」や「保育園・幼稚園等」が多く、それぞれ22.3%、17.8%となっている。
- 「その他」の1件は、「それぞれの両親」となっている。
- 全体的に家族や親族を頼る傾向が強く、「保育園・幼稚園等」の既につながりのある窓口を除くと公共機関や地域等に頼りたいという回答者が少ない傾向が窺える。

No.	選択肢	回答数	構成比(%)
1	パートナー(夫、妻)	194	67.6
2	その他の家族・親族	176	61.3
3	保育園・幼稚園等	51	17.8
4	その他の行政の窓口	16	5.6
5	パパ友、ママ友	64	22.3
6	職場の友人	29	10.1
7	地域コミュニティ(ご近所、自治会等)	11	3.8
8	特にない	29	10.1
9	その他	1	0.3
-	無回答・誤回答	38	13.2
	回答者数	287	100.0



2 - VI 自由記述欄

書ききれなかった事項や、町政に関するご意見、ご要望等がありましたら、以下に自由にお書きください。

- 218人の回答者から得られたご意見、ご要望等の内容を確認し、以下の通り計317件のご意見・ご要望に整理しました。
- ご意見・ご要望の整理にあたっては、複数の事項に触れているものは複数件のご意見・ご要望として分割してカウントしています。また、該当する分野や施策が明確なものは「④計画や施策の内容に関するご意見・ご要望」、分野横断的な内容や個別の分野や施策に分割するのが難しいものを「③まちづくりの方向性全般に関するご意見・ご要望」としてカウントしています。
- 「③まちづくりの方向性全般に関するご意見・ご要望」の中では、少子高齢化や若者の減少を町の抱える大きな課題と認識し、「町民が元気になる町」「若い家族が移住しやすい町」にするべく、住環境整備や道路の整備（交通の利便性向上）、雇用の場の確保、子育て支援の充実などが必要であるというご意見が寄せられています。
- 「④計画や施策の内容に関するご意見・ご要望」の中では、「1. 安全安心な生活基盤のあるまちの実現」のうち「道路、交通体系の整備」に関する内容、「3. 活力とにぎわいのあるまちの実現」のうち「商工業の振興」に関する内容、「6. 思いやりのある自治のまちの実現」のうち「行財政運営の合理化・効率化」に関する内容が特に多くなっています。
- 「道路、交通体系の整備」では、幹線道路の改善や広域交通ネットワークの整備、町道の草刈り、バス等の公共交通機関の利便性向上に関するご意見・ご要望が多く寄せられています。
- 「商工業の振興」では、石塚の中心的市街地における賑わいづくりや空き地の有効活用、必要な/利用したい店舗の誘致等に関するご意見・要望が多く寄せられています。
- 「行財政運営の合理化・効率化」では、税金の見直しや無駄の削減、職員の削減、行政手続きの簡略化を求める内容、実際にあった役場職員の良い対応・悪い対応に関する内容など多様なご意見・ご要望が寄せられています。

分類	件数
①今回のアンケートに関するご意見・ご要望	27件
②今般のコロナ禍の対応に関するご意見・ご要望	4件
③まちづくりの方向性全般に関するご意見・ご要望	16件
④計画や施策の内容に関するご意見・ご要望	270件
うち「1. 安全安心な生活基盤のあるまちの実現」(都市基盤、住宅、防災・防犯分野)に該当	82件
うち「2. 健やかに暮らせるまちの実現」(健康・福祉分野)に該当	28件
うち「3. 活力とにぎわいのあるまちの実現」(産業分野)に該当	64件
うち「4. 人と文化を育む人間性豊かなまちの実現」(教育・文化分野)に該当	15件
うち「5. 環境にやさしく、豊かな自然と共生するまちの実現」(環境分野)に該当	10件
うち「6. 思いやりのある自治のまちの実現」(行財政運営等分野)に該当	71件
合計	317件

【①今回のアンケートに関するご意見・ご要望】：全 27 件の内容

> アンケートの方法や様式に関する改善点の指摘

- アンケートは三つ折りにできるマークシート用紙でいいのではないのでしょうか。
- コロナ禍の現在、こういった紙ベースでのアンケートはいかがなものなのでしょうか？インターネットなど利用できればよいかと思えます。
- アンケートはネット対応にして欲しい。全体的にペーパーレスにして欲しい。
- アンケートをインターネットでできるようになると良いと思えました。集計が楽になったり、紙の資源削減等に繋がると思えます。
- このアンケートはインターネット回答も可能にすることはできなかったのでしょうか。
- アンケート用紙、ホチキスが邪魔で4つ折りにできない。ホチキスはNGです。

> アンケートの記載内容に関する改善点の指摘

- 「町政に対する評価」について、満足している～不満であるの他に「分からない」という項目もあると良かったです。
- このアンケートの「3つか4つに○をする」全て統一してほしかった。紛らわしい。
- アンケートに答えるのは問題ないのですが、質問に対して現在がどのような状態なのかが分からないので答えようがない。簡単でいいので、問題にどのような状態かが分かるようにしてもらえるといいと思えます。
- このアンケートを読み理解するのに時間がかかりすぎ、年配の方には難しいと思えます。正直、回答が適当になってしまいました。あまり意味がないことだと思えました。
- 現行の詳細はこちらとHPのURLが書いてありますが、わざわざ打ち込んでまで調べようとは思わないし、力を入れています！と発信する気があるのなら、QRコードを載せるべきではないでしょうか。

> アンケートに関するその他の改善点の指摘

- 本アンケート調査は無作為に抽出したとありますが、前回も含め、数回来ました。次回は別の人をお願いします。

> アンケート結果の公表に関する要望

- アンケート結果を公表して欲しい。アンケートだけで終わらせないで欲しい。
- アンケートの回答を以前にもしました。このアンケートの記入で、考えながら1時間かかりました。アンケートの結果のフィードバックが欲しいです。城里町に若い人が住んで、これからも住み続けて、子ども達も城里町にずっと住みたいと思える城里町にしたいです。高齢者だけの城里町にならないように、どうしたら良いかを考えるアンケートとも思えます。ぜひ振り返りの回答がほしいです。
- 10 数年もアンケートにお願いしましたが、この手のアンケートで一番大事なものは結果の開示です。役場や公署各地、広報紙での広報活動に期待させていただきたい。
- このアンケート調査について、結果報告を広報誌などに公表してほしいと願っています。

> アンケート結果の有効活用に関する要望

- アンケートが役に立つことを願います。
- 今後もアンケート調査を行って、町政のために参考にできれば良いと考えます。
- 議会、行政、町民が同じ方向で将来像を描き、実現に向けて取り組んでほしいと思えます。
- 現実に即し、より良い計画が立案されるよう、願います。
- 現在の町長になられて何年目でしょうか？「今？このアンケート？」もっと早くにこのようなアンケート実施してほしいです。「どちらともいえない」→現状が全くわかりません。※このような期限を決めるならば、封筒に大きく記してほしいです。

> その他、アンケートの回答状況等に関するコメント

- 町政に関わることがないので、適切な意見を出すことができませんでした。
- 町政に対する評価について、ほとんどが分からないので答えられませんでした。
- 町政に対する評価について、3に「○」は分からない場合を含みます。
- 65 歳を越えている夫婦には、子どもの教育環境などが現在どの様になっているのかよくわからないので、回答しにくい。
- の印がついていない所はわからない部分が多すぎるため記入していません。町政に対して関心が少なく、何に取り組んでいるのかも知らないため、耳から入った情報だけになっています。
- 町政に対する評価について、現在何も把握していないので、分からないものはどちらともいえないを選択しました。広報しろさとが、目に付けば見る程度、自分宛てにこうして届けば目を通すくらいです。アンケート、お取り頂きありがとうございます。

【②今般のコロナ禍の対応に関するご意見・ご要望】：全 4 件の内容

- コロナの振興券は嬉しかったです。ありがとうございました。
- マスクや地域振興券などの配布はありがたかったです。
- 地域振興券は評価する。新型コロナの中、マスク配布は助かった。迅速な対応が重要だと思う。
- 健康増進のためのトレーニング室が、町内でコロナ感染者が1名出た理由で即閉鎖する等、利用者のニーズを考慮しない一方的な決断は不満を感じる。

【③まちづくりの方向性全般に関するご意見・ご要望】：全 16 件の内容

> 課題の指摘等

- 高齢者が多く、若い方が少なく、これから先どうなっていくのか心配です。
- 町全体が暗い。活気がない。魅力がない。何も変わらない。ゴースト化している。年寄りも住みづらいから若者はもっとつまらない町だと思っているのではないかな？
- 今後はますます少子高齢化が進み、何十年後には空き家が多くなり、限界集落となる地域も出てくる時代が来ると予想されます。その対策をいかに創生し維持管理していくかを、町全体で真剣に考え実行していく時代が来たと、一人ひとりが自覚していかなばと考えます。
- 町政に期待しています。地区に少子高齢化への対策は早急に取り組みが必要だと思います。国や県と連携して、充実した施策をお願いします。
- 若い子達がUターンできる環境が整わなければ戻ってこないし、空き家等が増える。生前に終活している家庭。

> 期待する方向性

- 町民が元気になれる町づくり。
- 人口減少を食い止めるには、若者の流出を止め、若い家族が移住しやすい町にする。城里町独自の付加価値を作り、都心にはない新しい町。自然あふれる中に住民が居心地とゆとりある生活。そんな憧れる町を5年、10年かけて築き上げて欲しい。
- 田舎はとても良い所だと思いますが、それは我々歳をとった人間が思うことだと思います。若い人たちが城里町に住みたいと思う町づくりが必要だと思う。エコスのあたりの所が少しにぎやかで、その他はなんか死んでいるように感じる。町おこしの何かのアクションが必要。県内、県外からの観光客も必要。
- 東京から水戸→城里！若い人から言われることは、「城里は何にもない町」です！て。確かにファミレスも本屋、レンタル、美味しいパン屋さん、ケーキ屋さん、大型のガソリンスタンド！土地はあるのに水戸で土地が高いため、住宅が建てられない方々にぜひ城里へ！と言ってます。※斎場がないとか、全部他力では活性化しないと思います。火葬場は誰もが最後は使う大事な施設です。水戸は足りないので、外資を集めないと本当に何も無い町になってしまう！年寄りが元気でいられるのは、若い人が住んで楽しい町です！どうぞ私達含めがんばりましょう。
- 居住度が短い層、若年世帯のベッドタウン機能として子育て支援、交通の要衝の形成が必要。
- 高望みをするとキリがないので、まずは住環境や道路の整備が必要だと思います。
- 新型コロナウイルスに関連して、都心よりも住環境を直線距離で職場を考えた場合に、茨城県は通勤圏内と見直される機会となっていると思います。自然豊かな町づくりに加え、交通の利便性と住環境の整備を望みます。
- 少子高齢化は、日本全国の問題かも知れないが、特にこの城里町は問題が顕著だと思われる。田畑などは管理者が顕在している現在は良いかも知れないが、数年後には後継者が少なく、荒れるように思う。今現在でも上記のような問題はあっている。「豊かな自然を保持」することも良いかも知れないが、結局は地域を発展させるのは「人」であると思う。「人」を招くためにはまず、雇用だと思う。正規、非正規にかかわらず、雇用を増やすべき。例えば、余った広大な土地を拓いてショッピングモールなど、人が働ける環境が必要。また、中小企業や個人事業主に対しても、「人」が雇えるような支援があっても良いと思う。最終的にはとにかく「人」。「人」が住み良い、そんな町づくりが将来の城里町を作ると考えている。
- 生まれた時から城里に住んでいますが、緑を削り家を建て、人と車が増えるのはあまり理想的ではありません。

> その他、励ましや意気込み等

- 城里町に育ち、とても良い町だと思っています。これからもよりよい町になりますよう、子どもやお年寄りにとって住みやすい町にして下さい。
- いつもご苦労さまです。より良い町づくりに町民みんなで頑張っていきたいと思います。

【④計画や施策の内容に関するご意見・ご要望】：全270件の内訳

大分類(基本目標)		小分類(基本施策)		件数
1	安心な生活基盤のあるまちの実現	1	計画的土地利用の推進	1
		2	道路・交通体系の整備	41
		3	上・下水道・河川の整備	10
		4	公園・緑地の整備と緑化の推進	4
		5	情報通信網の整備・充実	2
		6	景観の形成	0
		7	住宅地・住宅の整備	4
		8	消防・救急体制の強化と防災の推進	11
		9	防犯・交通安全対策の推進	9
2	健やかに暮らせるまちの実現	1	地域福祉の充実	3
		2	子育て支援の充実	12
		3	高齢者福祉の充実	4
		4	障害者福祉の充実	1
		5	保健・医療の充実	7
		6	社会保障制度の充実	1
3	活力とにぎわいのあるまちの実現	1	農林業の振興	15
		2	商工業の振興	28
		3	観光・レクリエーションの振興	6
		4	新たな産業の誘致・育成	9
		5	消費者保護の推進	0
		6	住みたくなるまち、働きたくなるまちの構築	6
4	人と文化を育む人間性豊かなまちの実現	1	ともに社会を生き抜く力を身に着ける教育	2
		2	安心して学べる教育環境の整備	8
		3	生涯にわたって学べる環境の整備	5
		4	郷土の文化の継承と文化財の保護	0
5	環境にやさしく、豊かな自然と共生するまちの実現	1	自然環境の保全	2 [※]
		2	循環型社会の形成	5 [※]
		3	低炭素社会の形成	6 [※]
6	思いやりのある自治のまちの実現	1	住民主体のまちづくりの推進	15
		2	多様な交流の推進	0
		3	人権尊重と男女共同参画社会の推進	0
		4	行財政運営の合理化・効率化	32
		5	広域行政の推進	1
		-	その他*	23
合 計				270 件

※5-1と5-2、5-2と5-3に跨るご意見がそれぞれ2件と1件存在し、これを5-1と5-2及び5-2と5-3の両方でカウントしていることから、右列の全ての数字を足し合わせると273件となる。

*6-その他については、役場職員への応援や労いの言葉、町長及び町議に関するご意見など、総合計画の体系に含まれないものをカウントしている。

3. クロス集計結果

3-1 住みやすさの評価や居住継続意向に見える傾向

3-1-1 住みやすさの評価別の集計

【住みやすさの評価別の今後の居住継続意向（問9×問12）】

- 今後の居住継続意向は、住みやすい（「そう思う」「まあそう思う」と答える人ほど高く、住みにくい（「あまりそう思わない」「そう思わない」と答える人ほど低くなっている。
- 特に、住みやすい（「そう思う」と答える人の中では、「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」をあわせて92.5%となっている。
- 一方、住みにくい（「そう思わない」と答える人の中では、「すぐにでも他に移りたい」が11.0%で、他の回答者と比較して特に多くなっている。

【住みやすい（「そう思う」「まあそう思う」と答える人の特徴（問9×問14・10・11）】

- 町の弱みと言える「買い物環境」や「医療・福祉サービス」よりも、「災害や事故・犯罪」「住環境」「自然環境」等を重視する傾向があり、これらの項目を暮らしやすい点としてあげる人の割合がとて高い。
- 他の回答者と比べて「家族や親族との距離」を重視する人の割合も高い。
- 特に、住みやすい（「そう思う」と答える人の中では、暮らしにくい点が「特にない」の割合が最も高く、「買い物環境」が20%強、その他の選択肢は10%前後にとどまっている。

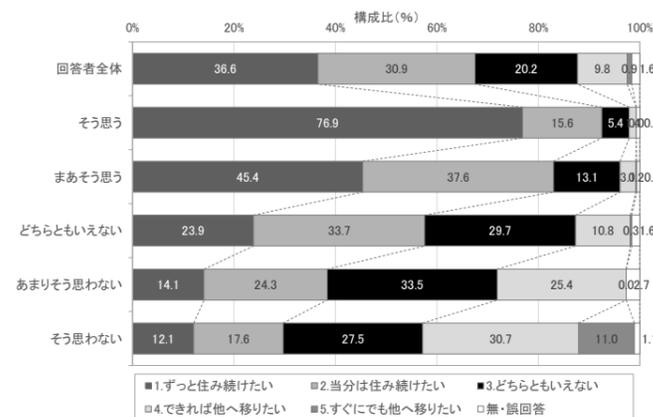
【住みにくい（「あまりそう思わない」「そう思わない」と答える人の特徴（問9×問14・10・11）】

- 「買い物環境」「医療・福祉サービス」だけでなく、「通勤・通学の利便性」「遊びや余暇活動」等を町の強みと言える「災害や事故・犯罪」「住環境」「自然環境」より重視する傾向があり、これらの項目を暮らしにくい点としてあげる人の割合がとて高い。
- 他の回答者と比べて「仕事や商売・事業」を暮らしにくい点としてあげる人の割合も高い。
- 特に、住みにくい（「そう思わない」と答える人の中では、暮らしやすい点が「特にない」の割合が高く、「災害や事故・犯罪」「住環境」「自然環境」と同程度となっている。

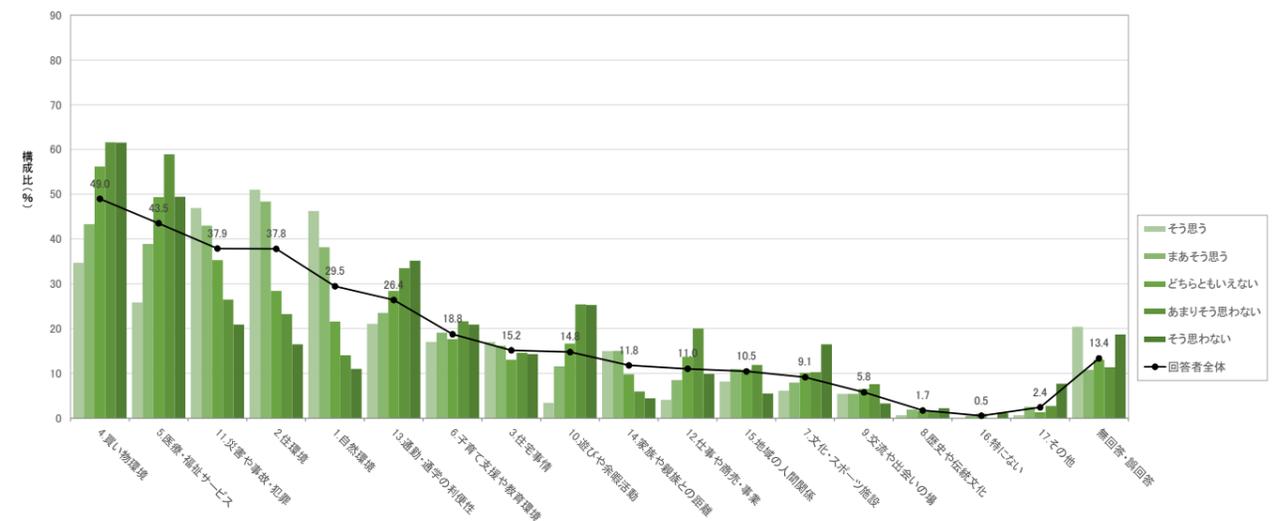
問9 現在の城里町が住みやすい・暮らしやすいまちだと思いますか？（あてはまるもの1つに○）

（省略/11頁を参照のこと）

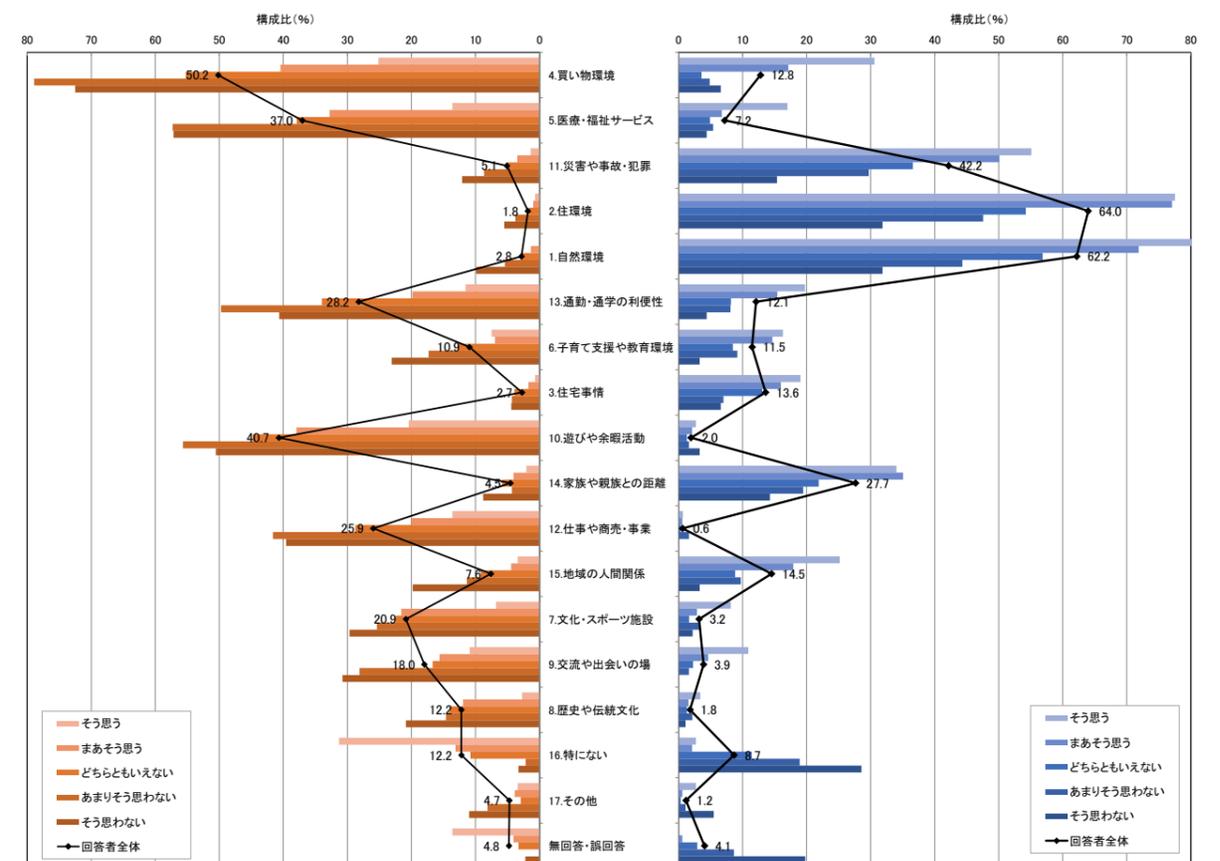
問12 今後も城里町に住み続けたいと思いますか？（あてはまるもの1つに○）



問14 住みたい町を決める上で特に重視する条件は何ですか？（問10の1~17の選択肢の中から該当するものを4つまで選んで以下にその数字を記入してください）



問10 暮らしやすいと感じるのはどのような点ですか？（あてはまるものを全て選んで○）
問11 反対に、暮らしにくいと感じるのはどのような点ですか？（あてはまるものを全て選んで○）



3-1-2 居住継続意向別の集計

【居住継続意向別の住みやすさの評価（問12×問9）】

- 住みやすさの評価は、「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と答える人ほど高く、「できれば他へ移りたい」「すぐにでも他へ移りたい」と答える人ほど低くなっている。
- 特に、「ずっと住み続けたい」と答える人の中では、住みやすい（「そう思う」）が24.1%で、他の回答者と比較して特に多くなっている。
- 一方、「すぐにでも他へ移りたい」と答える人の中では、住みにくい（「そう思わない」）が83.4%となっている。

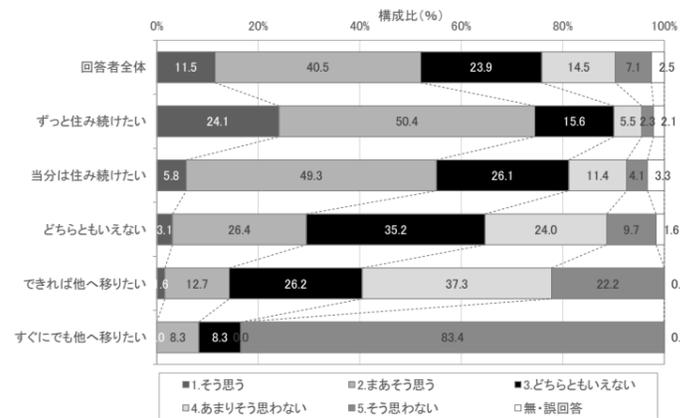
【「ずっと住み続けたい」「当分住み続けたい」と答える人の特徴（問12×問14・10・11）】

- 城里町に「ずっと住み続けたい」「当分住み続けたい」と考える人は、城里町が住みやすい（「そう思う」「まあそう思う」）と考える人（3-I-1参照）と概ね同様の回答傾向となっている。
- ただし、「当分住み続けたい」と答えた人の中では、「災害や事故・犯罪」「住環境」「自然環境」よりも「買い物環境」や「医療・福祉サービス」を重視する人が僅かに多くなっている。

【「できれば他へ移りたい」「すぐにでも他へ移りたい」と答える人の特徴（問12×問14・10・11）】

- 城里町から「できれば他へ移りたい」「すぐにでも他へ移りたい」と考える人は、城里町が住みにくい（「あまりそう思わない」「そう思わない」）と考える人（3-I-1参照）と概ね同様の回答傾向となっている。
- ただし、「すぐにでも他へ移りたい」と答えた人は、「医療・福祉サービス」「家族や親族との距離」「仕事や商売・事業」を重視する割合、暮らしやすい点として「特になし」、暮らしにくい点として「仕事や商売・事業」を選ぶ人の割合が特に高くなっている。
- このことから、本人や家族の介護（「医療・福祉サービス」や「家族や親族との距離」）、「仕事や商売・事業」の問題が転出の決定的な要因の1つになっている様子がうかがえる。

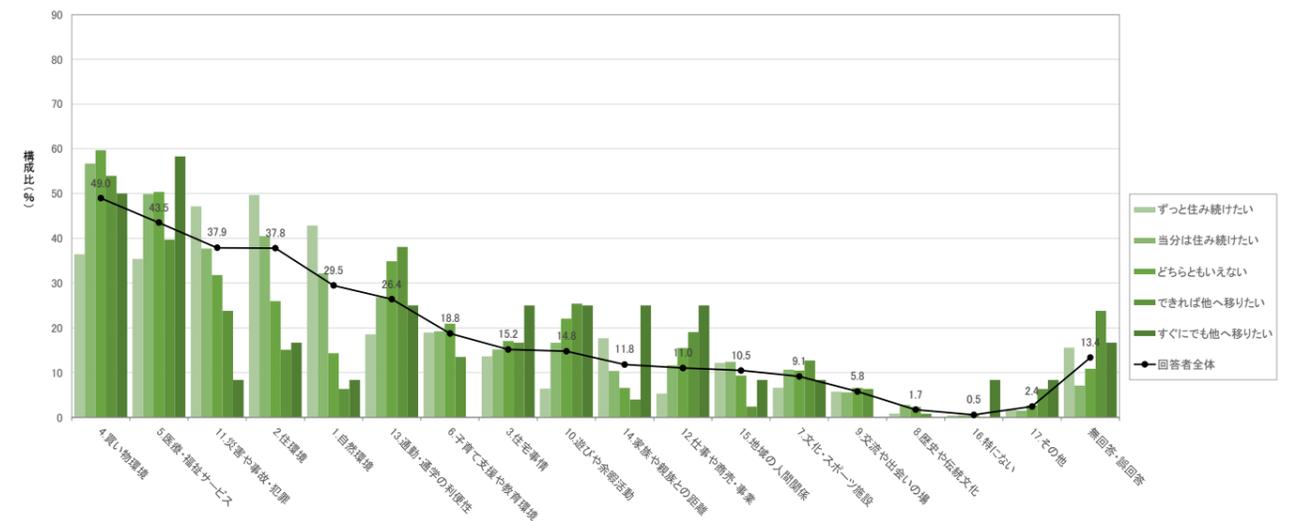
問9 現在の城里町が住みやすい・暮らしやすいまちだと思いますか？（あてはまるもの1つに○）



問12 今後も城里町に住み続けたいと思いますか？（あてはまるもの1つに○）

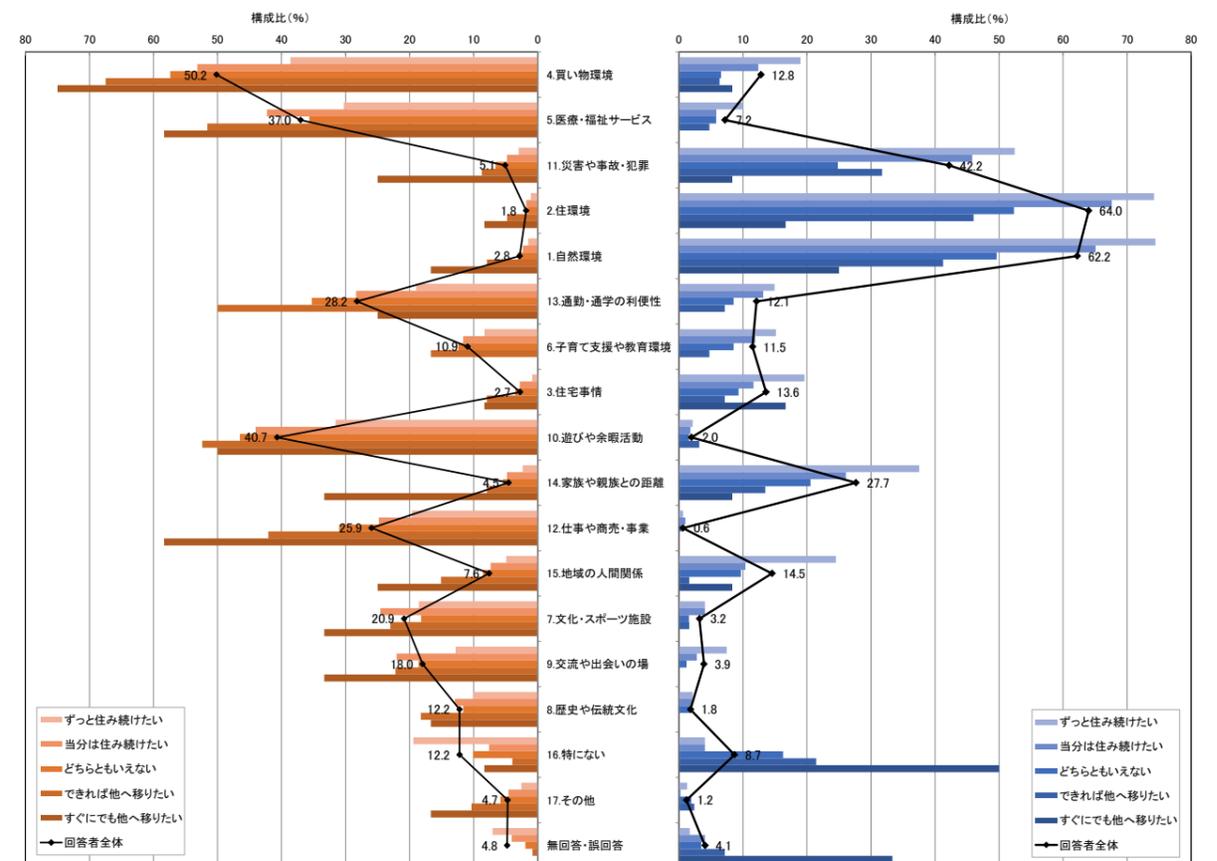
（省略/15頁を参照のこと）

問14 住みたい町を決める上で特に重視する条件は何ですか？（問10の1~17の選択肢の中から該当するものを4つまで選んで以下にその数字を記入してください）



問10 暮らしやすいと感じるのはどのような点ですか？（あてはまるものを全て選んで○）

問11 反対に、暮らしにくいと感じるのはどのような点ですか？（あてはまるものを全て選んで○）



3-Ⅱ 属性別の住みやすさの評価・居住継続意向の傾向

3-Ⅱ-1 年齢別の集計

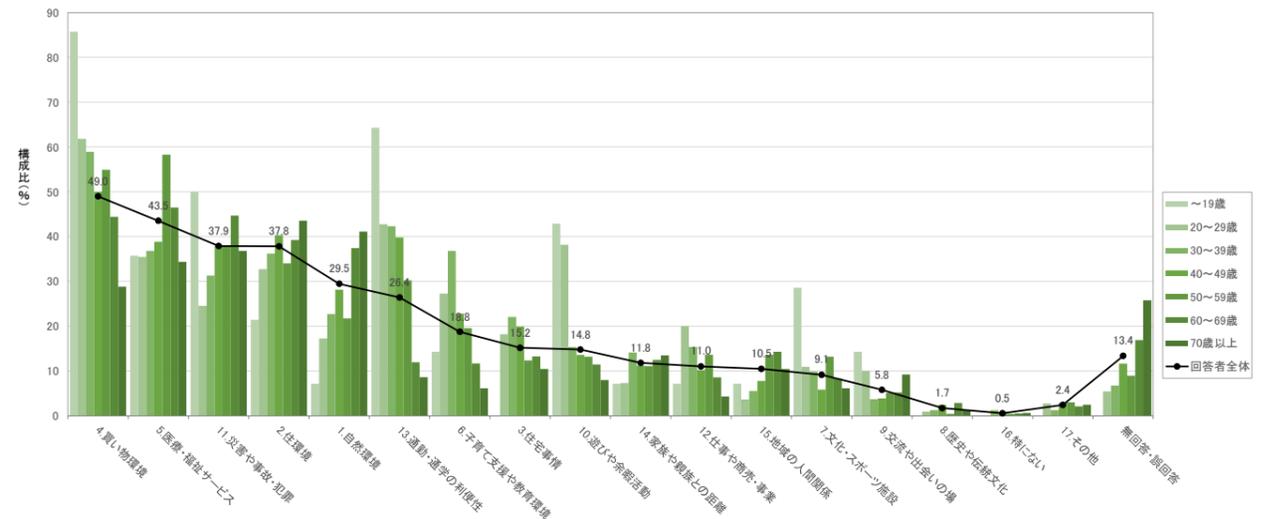
【年齢別の住みやすさの評価（問2×問9）・今後の居住継続意向（問2×問12）】

- 住みやすさの評価や居住継続意向は、10代が特に低くなっている。
- 10代については、住みやすさの評価・居住継続意向ともに「どちらともいえない」が50%前後と多く、住みにくい（「そう思わない」）、「すぐにでも他へ移りたい」という回答は見られない点も特徴である。
- これより上の年齢では、20代、30代、40代で評価が向上し、その後50代で僅かに評価が低下するものの、60代、70代と年齢が高くなるほど評価が高くなる傾向が見られる。

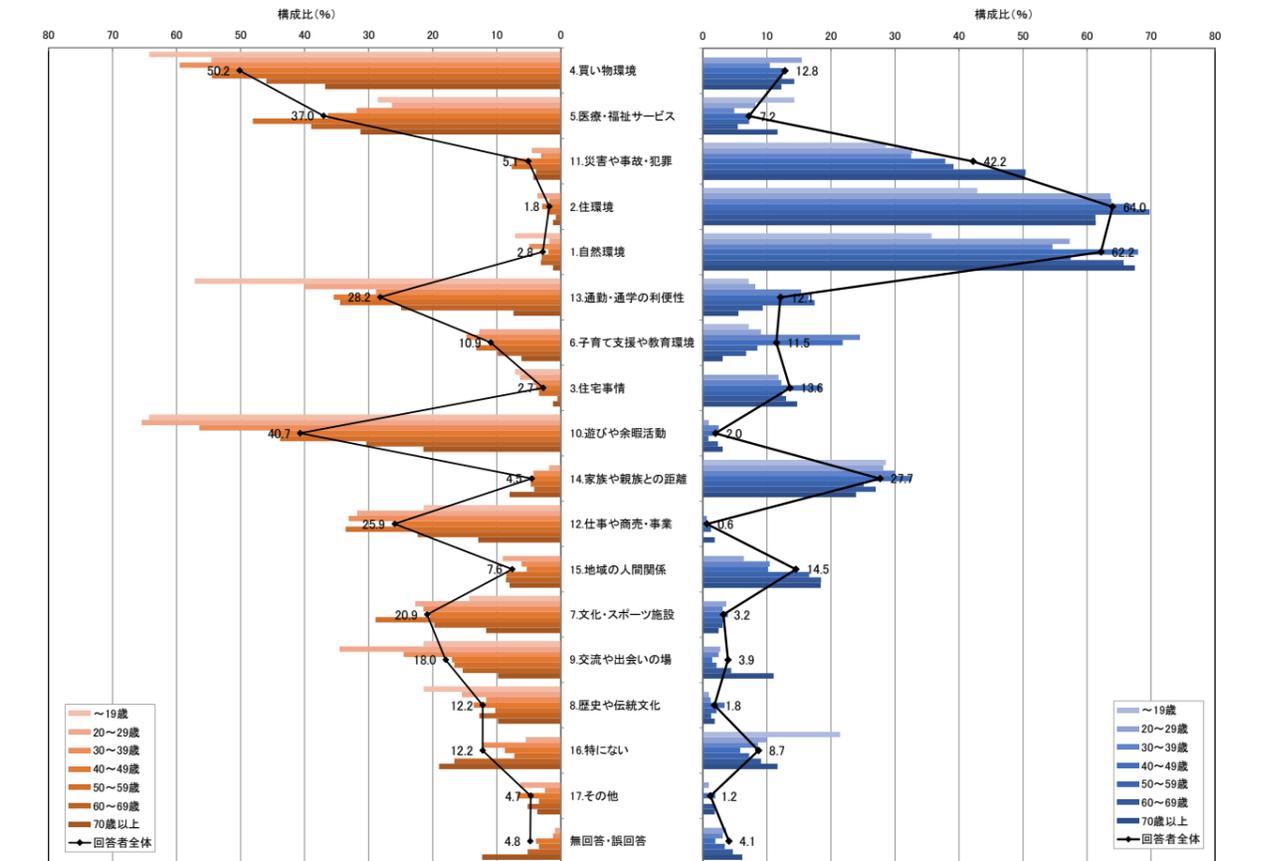
【年齢別の居住環境評価の特徴（問2×問14・10・11）】

- 10代では、住みたい町を決める上で特に重視する条件として「買い物環境」「通勤・通学の利便性」「遊びや余暇活動」を上げる人が多く、これらの項目を暮らしにくい点としてあげる割合も高い。また、暮らしやすい点として「特になし」を選ぶ人も多いことから、町の環境が10代の若者のニーズと合致していない様子が窺える。
- 20代、30代では、他の年代と比べて住みたい町を決める上で特に重視する条件として「子育て支援や教育環境」を上げる人、この項目を暮らしやすい点としてあげる人が多い。20代では、「遊びや余暇活動」や「交流や出会いの場」を暮らしにくい点としてあげる人が多いことも特徴である。
- 50代では、「医療・福祉サービス」を重視する人が最も多く、暮らしにくい点として「医療・福祉サービス」を選ぶ人も他の年代と比べて多い。このことから、50代で住みやすさの評価や居住継続意向が一度低下するのは、高齢の親の介護等に直面し、「医療・福祉サービス」に不満を感じることで背景にあることが推察される。

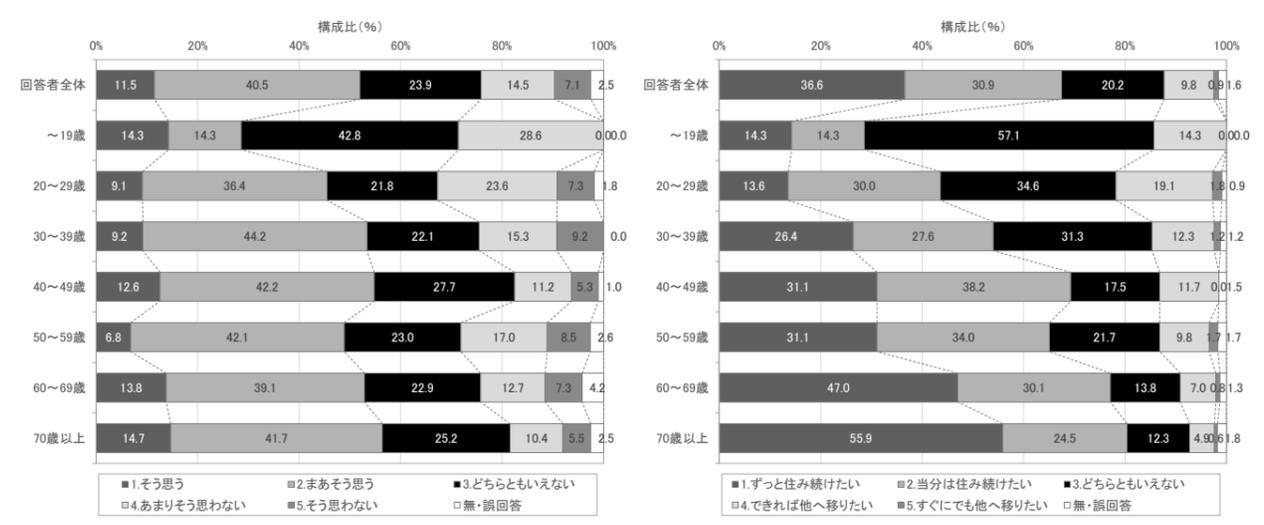
問14 住みたい町を決める上で特に重視する条件は何ですか？（問10の1～17の選択肢の中から該当するものを4つまで選んで以下にその数字を記入してください）



問10 暮らしやすいと感じるのはどのような点ですか？（あてはまるものを全て選んで○）
問11 反対に、暮らしにくいと感じるのはどのような点ですか？（あてはまるものを全て選んで○）



下左：問9 現在の城里町が住みやすい・暮らしやすいまちだと思いますか？（あてはまるもの1つに○）
下右：問12 今後も城里町に住み続けたいと思いますか？（あてはまるもの1つに○）



3-11-2 居住地別の評価や居留意向の違い

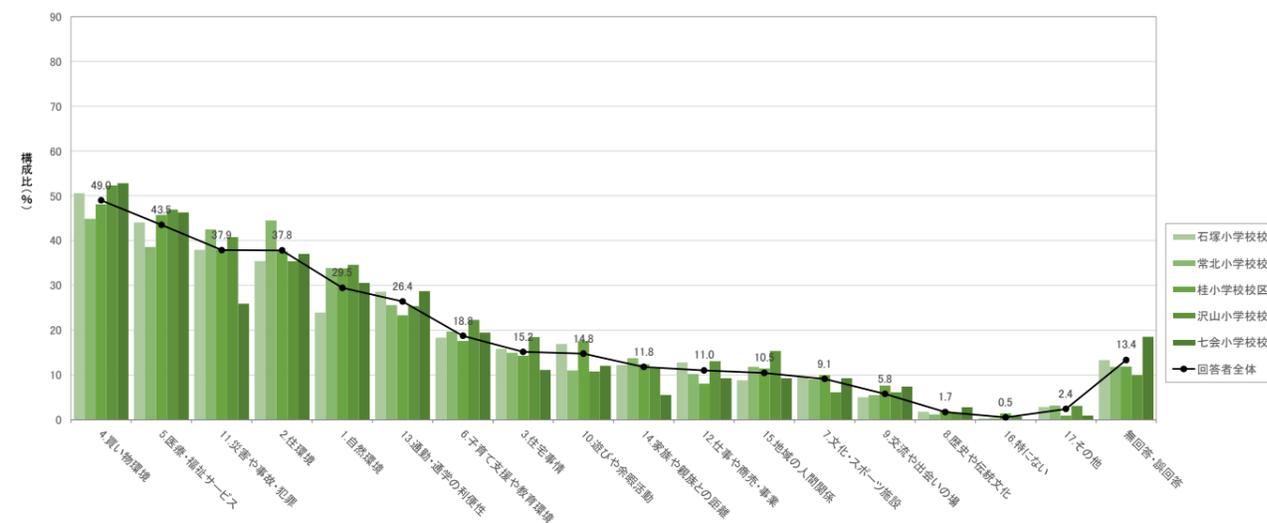
【居住地別の住みやすさの評価（問3×問9）・今後の居住継続意向（問3×問12）】

- 住みやすさの評価では、他の居住地と比べて、「沢山小学校区」でやや評価が高く、「七会小学校区」でやや評価が低い傾向が見られる。
- 居住継続意向では、「沢山小学校区」と、「常北小学校区」で「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と答える人が多くなっている。
- 「桂小学校区」は回答者全体（全町平均）と同程度となっている。
- 七会小学校区は、「当分は住み続けたい」がやや少ないが、「ずっと住み続けたい」「できれば他へ移りたい」「すぐにでも他へ移りたい」は回答者全体（全町平均）と同程度で、「どちらともいえない」が多くなっている。
- 「石塚小学校区」では、他の校区と比べて「ずっと住み続けたい」が最も少なく、「できれば他へ移りたい」が最も多くなっている。

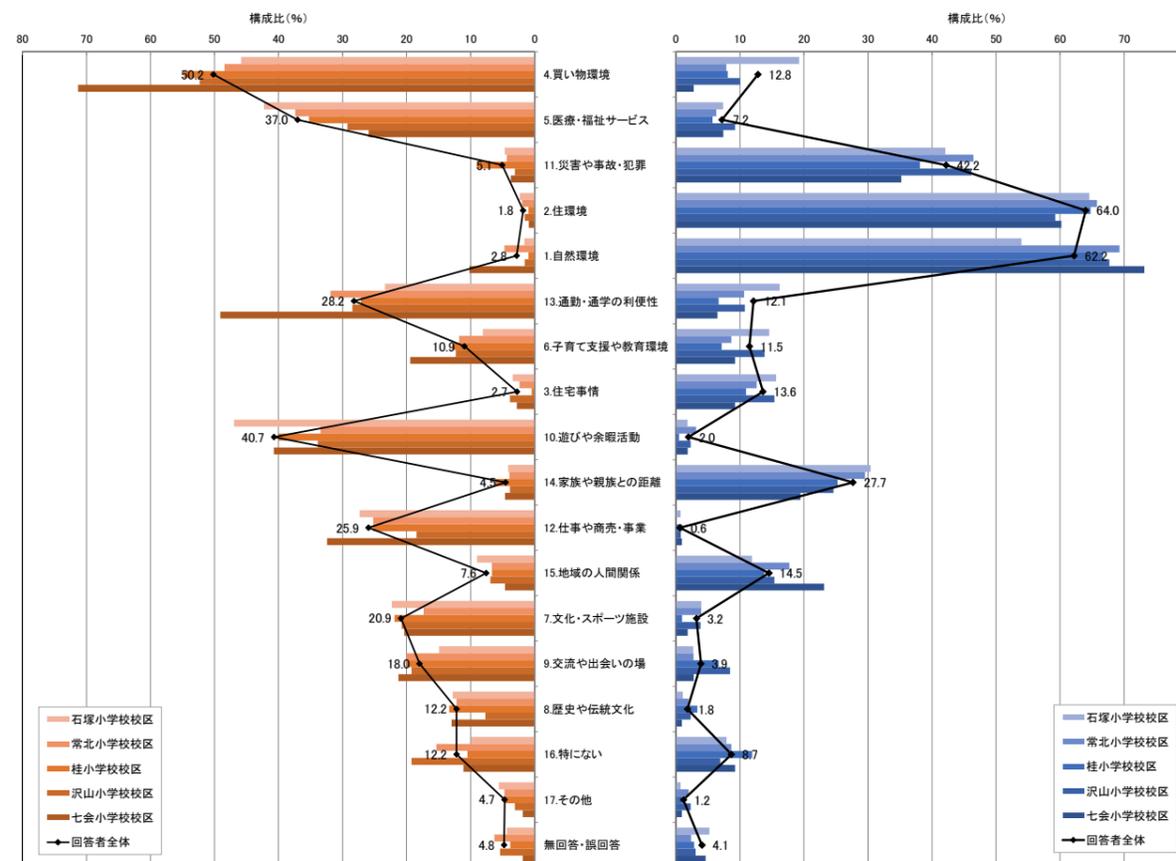
【居住地別の居住環境評価の特徴（問3×問14・10・11）】

- 住みたい町を決める上で特に重視する条件は、僅かに以下のような差異が見られるものの、各校区であまり大きな違いは見られない。
 - －「石塚小学校区」で「自然環境」の割合がやや低く、「遊びや余暇活動」の割合がやや高い
 - －「常北小学校区」で「買い物環境」「医療・福祉サービス」の割合がやや低く、「住環境」の割合がやや高い
 - －「桂小学校区」で「遊びや余暇活動」の割合がやや高い
 - －「七会小学校区」で「災害や事故・犯罪」の割合がやや低い
- 「七会小学校区」では、他の地区と比べて「買い物環境」や「通勤・通学の利便性」を暮らしにくい点としてあげる人が特に多く、これらが住みやすさの評価がやや低い要因となっていることが推察される。
- 中心市街地を抱え町内で最も利便性が高い「石塚小学校区」では、他地区と比べて「買い物環境」の評価が高い一方、「医療・福祉サービス」や「遊びや余暇活動」を暮らしにくい点としてあげる人がやや多くなっている。

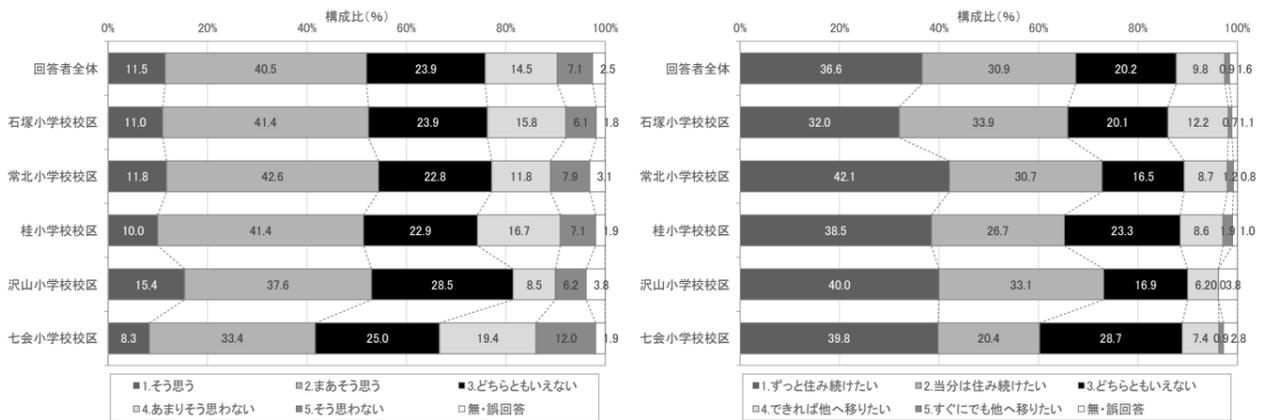
問14 住みたい町を決める上で特に重視する条件は何ですか？（問10の1～17の選択肢の中から該当するものを4つまで選んで以下にその数字を記入してください）



問10 暮らしやすいと感じるのはどのような点ですか？（あてはまるものを全て選んで○）
問11 反対に、暮らしにくいと感じるのはどのような点ですか？（あてはまるものを全て選んで○）



下左：問9 現在の城里町が住みやすい・暮らしやすいまちだと思いますか？（あてはまるもの1つに○）
下右：問12 今後も城里町に住み続けたいと思いますか？（あてはまるもの1つに○）



3-11-3 同居する家族の種別の評価や居住意向の違い

【同居する家族の種別に見る住みやすさの評価（問6×問9）・今後の居住継続意向（問6×問12）】

- 住みやすさの評価では、「小学生未満の子ども」「小・中学生」「高校生」「65歳以上の方（自分を含む）」がいると答えた人は、評価がやや高くなっている。
- 居住継続意向では、「小学生未満の子ども」や「65歳以上の方（自分を含む）」がいると答えた人の評価が高く、子どもが大きくなるに連れて評価が低下する傾向が見られる。
- 子どもや「65歳以上の方（自分を含む）」「障害者手帳をお持ちの方（自分を含む）」がいない人は、住みやすさの評価や居住継続意向がやや低くなっている。

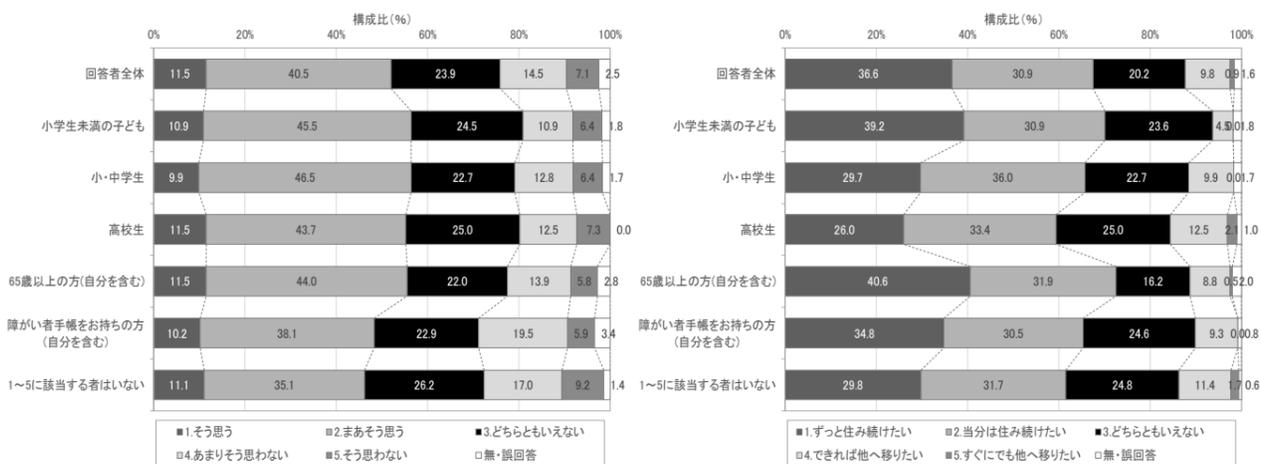
【同居する家族の種別に見る居住環境評価の特徴（問6×問14・10・11）】

- 住みたい町を決める上で特に重視する条件では、子どもがいる人は特に「子育て支援や教育環境」や「通勤・通学の利便性」を選ぶ人が多くなっている。
- 特に「小学生未満の子ども」がいると答えた人は、他の属性に比べて「子育て支援や教育環境」や「家族や親族との距離」を暮らしやすいと感じる点としてあげる割合が高く、これらの項目が高い居住継続意向につながっていることが推察される。
- 暮らしやすい点、暮らしにくい点については、「買い物環境」「遊びや余暇活動」「通勤・通学の利便性」といった項目を暮らしにくい点としてあげるのは、子どもがいる人が多く、「65歳以上の方（自分を含む）」や「障害者手帳をお持ちの方（自分を含む）」がいると答えた人はやや少なくなっている。
- 特に「通勤や通学の利便性」については、子どもが大きくなるほど暮らしにくい点としてあげる割合が高くなる傾向が見られる。また、暮らしやすい点として「子育て支援や教育環境」をあげる人の割合も子どもが大きくなるほど低下する傾向が見られることから、子どもが大きくなるにつれて子育てに関するニーズが変化している様子が窺える。

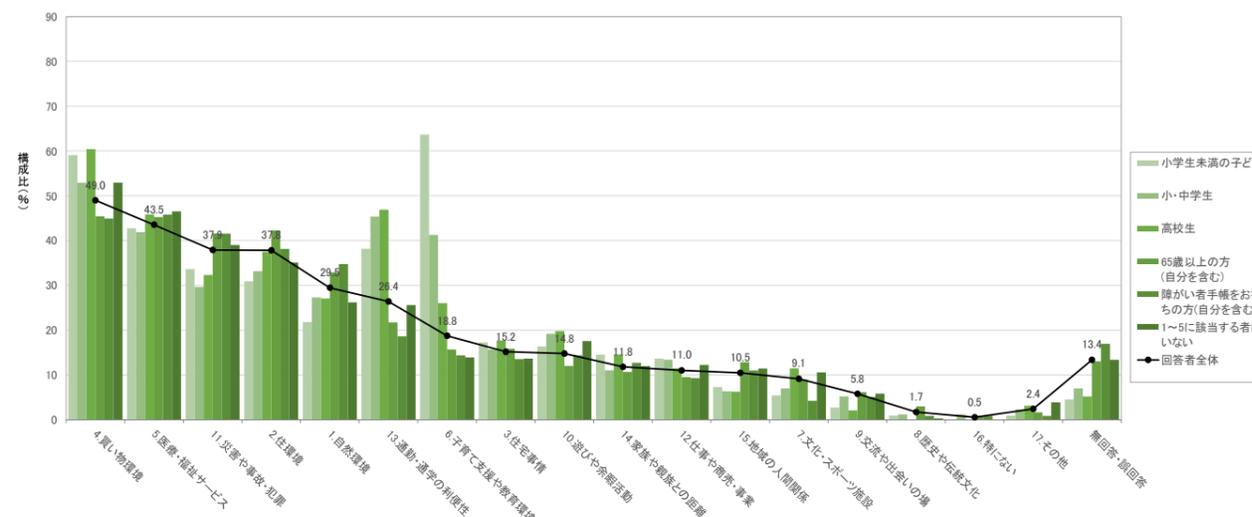
「高校生」がいると答えた人は、「医療・福祉サービス」を暮らしにくい点としてあげる割合も高く、年代別で最も多かった50代と同程度となっている（3-II-1）。子どもが小さい時よりも大きくなってからのほうが「医療・福祉サービス」を必要とする割合が顕著に高くなることから、「高校生」の子を持ちながら高齢の親を介護する人が、「医療・福祉サービス」について暮らしにくいと感じていることが推察される。

下左：問9 現在の城里町が住みやすい・暮らしやすいまちだと思いますか？（あてはまるもの1つに○）

下右：問12 今後も城里町に住み続けたいと思いますか？（あてはまるもの1つに○）



問14 住みたい町を決める上で特に重視する条件は何ですか？（問10の1~17の選択肢の中から該当するものを4つまで選んで以下にその数字を記入してください）



問10 暮らしやすいと感じるのはどのような点ですか？（あてはまるものを全て選んで○）

問11 反対に、暮らしにくいと感じるのはどのような点ですか？（あてはまるものを全て選んで○）

